

予算科目	02総務費	06監査委員費	01監査委員費	02監査事務
細事業名	01 監査事務			決算書 P.132
総合計画	計画項目 33 効率的・効果的な行財政運営			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,025千円	2,071千円	46千円	97.7%	2,071千円
目的	財務、経営に関する事務・事業が法令等に基づいて適正に行われているか、公正で合理的、能率的な行財政運営が図られているか、市民の目線に立脚した各種監査を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	監査計画に基づき、年間を通して各種の監査等を実施			
	<ul style="list-style-type: none"> ○監査委員報酬 1,800千円 ○識見者選出委員 120千円×12月＝ 1,440千円 ○議会選出委員 30千円×12月＝ 360千円 ○費用弁償及び研修等旅費 145千円 ○事務用品費等 33千円 ○都市監査委員会会費 46千円 全国26千円、近畿10千円、京都府10千円 ○北陸・東海・近畿三地区監査委員会研修会負担金(1人) 1千円 			
主な財源	実施した監査等			
	<ul style="list-style-type: none"> ○例月出納検査 毎月下旬に前月分を検査 ○決算審査 平成27年7月3日～平成27年8月19日 ○財政健全化判断比率等審査 平成27年7月27日～平成27年8月19日 ○定期監査 平成27年11月16日～平成28年3月15日 ○財政援助団体等監査 平成27年5月1日～平成27年6月10日 (財政援助団体監査) ・京丹後市商工会、京丹後市体育協会 ○住民監査請求による監査(1件) ・京丹後市鉄道・バス時刻表作成経費の返還請求事案 			
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理、その他事務事業の執行について適切に監査を行い、事務改善等の指導が実施できた。 ○各部署での事業の実施にあたり、住民福祉の向上につながるか等の検討を実施し、取捨選択を行った上で、合理的かつ効果的な事業の実施を求めていく必要がある。 			
事業所管課	監査委員事務局			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	02行旅死亡人等取扱事務
細事業名	01 行旅死亡人等取扱事務			決算書 P.134
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
20千円	195千円	175千円	10.2%	195千円
目的	市内において、旅行中に病気になり救護者がいない方や死亡し引取者のいない方に対し、縁故者に代わって援助措置を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○「行旅病人及行旅死亡人取扱法」に基づくもの 20千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 身元不明により引き取り手がいない死亡人は、葬祭・埋葬する者がいないため、行旅病人及行旅死亡人取扱法により、市が取り扱うことが規定されている。平成27年3月に葬祭を実施した身元不明の遺体(3体)について、平成27年4月に官報公告を掲載した。 ・官報掲載料 20千円 			
主な財源	負担金	行旅死亡人取扱費負担金	20千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき、事務を適正に執行できた。 ○遺骨を保管していただける寺院等を探すのが難しい状況にあるため、引き続き、寺院等の協力を得ながら滞りなく葬祭等を執行できるよう努める必要がある。 			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	03くらしの資金貸付事業		
細事業名	01 くらしの資金貸付事業			決算書 P.134		
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
2,214千円	2,216千円	2千円	99.9%	5,201千円		
目的	一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、くらしのための緊急に必要なとする資金の貸付を行い、自立更生及び生活意欲の促進を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、貸付審査会の審査を経て、資金の貸付を行った。					
	○くらしの資金貸付金	2,015千円				
		【実績】	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		申請件数	59件	44件	19件	23件
		貸付件数	56件	38件	18件	21件
	金額	5,754千円	3,550千円	1,500千円	2,015千円	
	○くらしの資金貸付金管理台帳システム保守委託料	129千円				
	○消耗品費（ファイル等）	4千円				
	○印刷製本費（納付書等）	66千円				
主な財源	諸収入	くらしの資金貸付金元金収入	2,015千円			
評価・課題等	○一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、緊急的な貸付支援を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 ○貸付支援だけでなく、就労支援など、より一層関係部署及び関係機関と連携を図り、世帯の自立に向けた生活支援をより効果的に進めていく必要がある。					
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	05人権啓発事業
細事業名	01 人権啓発推進事業			決算書 P.134
総合計画	計画項目	24 人権を尊重するまちづくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
722千円	859千円	137千円	84.0%	859千円
目的	一人ひとりの人権が尊重され、差別のない社会の実現に向け、人権啓発イベント等の実施によって、人権問題に対する市民の理解や意識の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	人権啓発映画会、人権啓発総合イベント及び人権講演会を実施し、広く市民に人権問題を正しく認識してもらう機会を提供した。			
	○人権啓発総合イベント「ハートフルフェスタ みんなのつどい」	348千円		
	(H27.11.28 アグリセンター大宮) 参加者211人			
	・報償費（人権作文朗読、要約筆記・手話通訳等）	101千円		
	・消耗品費、食糧費（資料、事務用品、講師お茶代等）	5千円		
	・印刷製本費（チラシ作成）	105千円		
	・委託料（講演会講師委託料）	93千円		
	・賃借料（看板、式典備品等借上料）	44千円		
	○人権啓発映画会（H27.8.30 アグリセンター大宮）参加者270人	199千円		
	・消耗品費（資料用袋、事務用品）	7千円		
・印刷製本費（チラシ作成）	67千円			
・委託料（映画上映委託料）	125千円			
○人権講演会（H27.11.5 峰山総合福祉センター）参加者58人	1千円			
・食糧費（講演会講師お茶代）	1千円			
※京都府の府民講座事業活用のため講師料は京都府が負担				
○人権の花運動・人権教室の開催（子ども園1園・小学校2校 97人）	61千円			
・消耗品費（球根、培養土、鉢、額縁、記念品等）	58千円			
・通信運搬費（球根等配送料）	3千円			
○その他	113千円			
・旅費（職員研修等）	92千円			
・消耗品費（事務用品、研修資料代等）	15千円			
・役務費（機関紙郵送料）	2千円			
・使用料（有料道路使用料）	4千円			
主な財源	府補	人権問題啓発事業費補助金（1/2）	268千円	
	府委	地域人権啓発活動活性化事業委託金（10/10）	61千円	
評価・課題等	○京都府事業の活用など、関係団体と連携を取りながら各種啓発イベント等を実施し、広く市民に対し人権尊重意識の啓発を図ることができた。 ○若い世代の参加が少ないことから、開催時期の配慮、時代背景に即した内容の選定、効果的な広報の実施等工夫し、より幅広い市民への啓発が必要である。			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	05人権啓発事業
細事業名	02 人権啓発推進団体等負担金			決算書 P.134
総合計画	計画項目	24 人権を尊重するまちづくりの推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,770千円	1,770千円	0千円	100.0%	1,770千円
目的	市内の各人権啓発推進団体の活動を支援するとともに連携を図ることで、各団体が行う人権啓発事業を通じて市民の人権問題に対する理解や意識の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>人権啓発の推進活動を行う団体へ負担金の支出を行った。</p> <p>○人権啓発推進団体負担金 1,770千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京丹後市人権啓発推進協議会等負担金 900千円 主な活動：協議会主催による講演会の実施、協議会加盟団体独自の人権啓発事業の実施及び街頭啓発等 人権啓発事業への協力・参加等 ・京丹後市人権擁護委員協議会負担金 480千円 主な活動：人権相談、SOSミニレター、人権の花運動等 ・京丹後市保護司会負担金 330千円 主な活動：更生保護活動、犯罪予防活動等 ・社会を明るくする運動「市民のつどい」負担金 60千円 主な活動：7月の社会を明るくする運動強調月間に「市民のつどい」を開催し、中学生作文朗読や更生保護関連の映画を上映 			
主な財源				
評価・課題等	人権啓発推進団体の活動が活性化されたことで、各団体による人権啓発の多様な発信ができ、当該事業への参加を通じて市民の人権問題への理解や意識の向上が図られた。			
事業所管課	市民部/市民課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	06民生委員・児童委員活動事業																												
細事業名	01 民生児童委員活動事業			決算書 P.136																												
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進																														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																												
21,545千円	21,744千円	199千円	99.0%	21,744千円																												
目的	民生児童委員活動を支援するとともに、活動に対して補助金を交付し、民生児童委員活動の充実を図る。																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○職員旅費（府民児協会議、先進地視察職員随行旅費等） 221千円 ○燃料費（研修会等バス燃料代） 32千円 ○委託料（各種視察研修バス運転委託料） 291千円 ○使用料及び賃借料 195千円 <ul style="list-style-type: none"> 自動車借上料（全員研修会バス借上料） 167千円 有料道路通行料 28千円 ○負担金、補助及び交付金 <ul style="list-style-type: none"> 各町単位民生児童委員協議会活動費補助金 20,806千円 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>峰山町</td> <td>大宮町</td> <td>網野町</td> <td>丹後町</td> <td>弥栄町</td> <td>久美浜町</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>4,169千円</td> <td>3,263千円</td> <td>4,687千円</td> <td>2,696千円</td> <td>2,024千円</td> <td>3,967千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>※各町単位民生児童委員協議会委員数</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>峰山町</td> <td>大宮町</td> <td>網野町</td> <td>丹後町</td> <td>弥栄町</td> <td>久美浜町</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>40人</td> <td>31人</td> <td>45人</td> <td>26人</td> <td>19人</td> <td>38人</td> <td>199人</td> </tr> </table>				峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計	4,169千円	3,263千円	4,687千円	2,696千円	2,024千円	3,967千円		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計	40人	31人	45人	26人	19人	38人	199人
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計																										
4,169千円	3,263千円	4,687千円	2,696千円	2,024千円	3,967千円																											
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計																										
40人	31人	45人	26人	19人	38人	199人																										
主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金	11,552千円																													
	府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金	72千円																													
	府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金	711千円																													
評価・課題等	<p>○活動に対する補助金を交付することで、民生児童委員活動の充実が更に図られ、地域福祉が推進された。</p> <p>○年々、複雑なケースが増加する中、民生児童委員に求められる知識は非常に幅広く、また、制度改正が頻繁に行われるため、今後も研修会の実施や情報提供、委員同士の意見交換の場の提供を行い、委員の資質向上を支援する必要がある。</p>																															
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																															

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	07援護事業
細事業名	01 戦没者追悼事業			決算書 P.136
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
869千円	946千円	77千円	91.8%	946千円
目的	戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、平和を祈念する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、平和を祈念するため京丹後市戦没者追悼式を実施した。また、全国戦没者追悼式、京都府戦没者追悼式へ参列した。第十回特別弔慰金の請求開始（平成27年4月1日～）に伴い、受付事務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○京丹後市戦没者追悼式（参列遺族数：250人） 782千円 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成27年11月11日（水） 場所：京都府丹後文化会館 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費（司会者謝金） 10千円 ・需用費（祭壇ほか） 177千円 ・役務費（クリーニング代ほか） 49千円 ・委託料（送迎用バス運転委託料） 30千円 ・使用料及び賃借料（送迎バス借上料、会場借上料） 516千円 ○全国戦没者追悼式（参列遺族数：7人） 68千円 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成27年8月15日（土） 場所：日本武道館（東京都） <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（市内各駅～京都駅までの参列者の旅費） 68千円 ○京都府戦没者追悼式（参列遺族数：85人） 3千円 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成27年10月8日（木） 場所：国立京都国際会館（京都市） <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（随員職員旅費） 3千円 ○その他（第十回特別弔慰金受付事務に係る経費） 16千円 <ul style="list-style-type: none"> ・旅費（事務担当者会議） 3千円 ・事務消耗品 9千円 ・有料道路通行料（事務担当者会議） 4千円 			
主な財源	府補	援護事務交付金（10/10）	16千円	
評価・課題等	<p>○戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、世界の恒久平和を願うことができた。</p> <p>○戦後70年以上が経過し、いかに戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを語り継いでいくかが、大きな課題となっている。</p> <p>○戦没者遺族の方の高齢化に伴い、戦没者追悼式の参列者が減少していることから、京丹後市戦没者追悼式については、内容や会場等を検討する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	08男女共同参画推進事業
細事業名	01 男女共同参画推進事業			決算書 P.136
総合計画	計画項目 25 男女共同参画社会の形成			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
3,951千円	4,210千円	259千円	93.8%	4,606千円
目的	男女共同参画の意識啓発事業を実施することにより、男女がそれぞれの個性と能力を発揮する男女共同参画社会を実現する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>男女共同参画審議会を4回開催し、第2次男女共同参画計画を策定した。</p> <p>男女共同参画セミナー（男性の料理教室、デートDV防止講座、みんなのつどい等）を開催するほか、男女共同参画啓発紙芝居（幼児向け）を作成し、市内の保育所、幼稚園及び図書館に配布し意識啓発を図った。また、女性専門のカウンセリング業者に委託し、女性相談（毎月2回）の場を設けるとともに、女性向け電話相談を行う女性問題アドバイザーに対し研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第2次男女共同参画計画策定経費 1,977千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、印刷製本費（ケント紙、電池、計画印刷製本） 173千円 ・委託料（計画策定委託料） 1,804千円 ○男女共同参画審議会（4回開催） 239千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報酬（15人×4回）、旅費（費用弁償10人×4回） 239千円 ○男女共同参画セミナー（講座2回55人、講演会2回126人） 277千円 <ul style="list-style-type: none"> ・報償費、委託料（講師料・講師委託料） 153千円 ・消耗品費、食糧費（事務用品、講師お茶代） 17千円 ・印刷製本費（チラシ21,000枚作成） 84千円 ・通信運搬費、賃借料（啓発パネル） 23千円 ○男女共同参画啓発紙芝居（市内保育所・幼稚園・図書館へ配付） 402千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費、印刷製本費（紙芝居ケース） 402千円 ○女性相談（面接：2回/月、相談47件）（電話：1回/月、相談4件） 968千円 <ul style="list-style-type: none"> ・フェミニストカウンセラー派遣委託料（24回開設） 829千円 ・女性問題アドバイザー研修講師派遣委託料（2回開催） 139千円 ○その他 88千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（事務用品代、啓発タスキ） 45千円 ・旅費（職員出張旅費）、有料道路通行料（職員出張） 43千円 			
主な財源	府補	人権問題啓発事業費補助金（1/2）	295千円	
	府補	地域交流活性化支援事業費補助金（1/2）	21千円	
評価・課題等	<p>○久美浜高校において、高校3年生を対象にデートDV防止講座を実施し、若年層への啓発を行った。</p> <p>○男女共同参画社会の実現には、幼少期から若年層など次代を担う子供、若者への啓発及び男性に対する啓発が重要であることから、これらの対象者が興味を抱くテーマを選定し事業を実施する必要がある。</p>			
事業所管課	市民部/市民課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	09社会福祉協議会活動助成事業																		
細事業名	01 社会福祉協議会運営費補助金			決算書 P.138																		
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																		
70,050千円	70,050千円	0千円	100.0%	70,050千円																		
目的	社会福祉協議会の本所及び5支所の事務員人件費等の補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、社会福祉活動の充実を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○社会福祉協議会運営費補助金 70,050千円 ※社会福祉協議会の補助対象職員：18人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助対象職員数</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H24</td> <td>18人</td> <td>71,956千円</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>18人</td> <td>71,924千円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>18人</td> <td>71,924千円</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>18人</td> <td>71,924千円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>18人</td> <td>70,050千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進」を図ることを目的とする社会福祉法人。市が策定した「地域福祉計画」と密接な関連を持ち、「地域福祉の推進」について、福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取り組みを進めている。</p>					補助対象職員数	補助金	H24	18人	71,956千円	H25	18人	71,924千円	H26	18人	71,924千円	H26	18人	71,924千円	H27	18人	70,050千円
	補助対象職員数	補助金																				
H24	18人	71,956千円																				
H25	18人	71,924千円																				
H26	18人	71,924千円																				
H26	18人	71,924千円																				
H27	18人	70,050千円																				
主な財源																						
評価・課題等	地域福祉の推進を目的に補助を行うことで、社会福祉協議会の円滑な運営に寄与するとともに、地域福祉活動の充実を図ることができた。																					
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	10災害見舞金等事業																			
細事業名	01 災害見舞金等事業			決算書 P.138																			
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																			
600千円	600千円	0千円	100.0%	400千円																			
目的	被災された市民に対し見舞金・弔慰金を支給し、被災者の生活を支援する。																						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害により被災された市民の方に対し、災害見舞金・災害弔慰金を支給した。</p> <p>○災害見舞金（火災によるもの）：7件 300千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">全 焼</th> <th colspan="2">半 焼</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>見舞金</th> <th>件数</th> <th>見舞金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住家</td> <td>5件</td> <td>250千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td>非住家</td> <td>1件</td> <td>30千円</td> <td>1件</td> <td>20千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○災害弔慰金（住家火災による死亡者）：1件 300千円</p>					全 焼		半 焼		件数	見舞金	件数	見舞金	住家	5件	250千円	0件	0千円	非住家	1件	30千円	1件	20千円
	全 焼		半 焼																				
	件数	見舞金	件数	見舞金																			
住家	5件	250千円	0件	0千円																			
非住家	1件	30千円	1件	20千円																			
主な財源																							
評価・課題等	京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、災害弔慰金を支給することで、故人への追悼の意を示すとともに、被災者の援護を行うことができた。																						
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																						

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	11健康と福祉のまちづくり審議会事業
細事業名	01 健康と福祉のまちづくり審議会事業			決算書 P.138
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
53千円	151千円	98千円	35.0%	151千円
目的	審議会で市長の諮問に応じた各福祉分野の調査、研究及び審議等を行い、市民の健康づくりと福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○審議内容：京丹後市生涯現役社会づくり条例案について</p> <p>審議会委員：15人 委員任期：平成27年4月30日から平成27年6月4日まで 審議会開催：1回 部会開催：高齢者部会1回</p> <p>・委員報酬(4,000円×支払対象延べ12人) 48千円 ・費用弁償 5千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	昨年度から引き続き、高齢者を取り巻く現状と課題について審議し、生涯現役社会づくり条例案について、答申することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	12峰山総合福祉センター-管理事業																		
細事業名	01 峰山総合福祉センター-管理事業			決算書 P.138																		
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進																					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																		
12,324千円	12,667千円	343千円	97.2%	12,905千円																		
目的	福祉事務所としての施設の維持管理のほか、設備機能の充実を図り、市民に会議・イベント等で幅広く活用してもらうことで、市民の健康づくりと福祉の充実を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○峰山総合福祉センター維持管理経費 12,324千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料費(空調用燃料等) 853千円 ・施設修繕料(空調設備、コミュニティホール設備ほか) 1,455千円 ・光熱水費(電気使用料、上下水道使用料) 4,772千円 ・日直代行業務委託料 1,515千円 ・エレベーター保守点検委託料 681千円 ・施設清掃業務委託料 321千円 ・移動観覧席保守点検業務委託料 292千円 ・空調設備保守点検業務委託料 227千円 ・特殊建築物・設備定期報告業務委託料 430千円 ・その他施設管理費(機械警備、自動ドア点検、土地借上料ほか) 1,778千円 <p><峰山総合福祉センター利用実績></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティホール</td> <td>308件</td> <td>20,091人</td> </tr> <tr> <td>研修室</td> <td>144件</td> <td>1,202人</td> </tr> <tr> <td>和室1</td> <td>103件</td> <td>677人</td> </tr> <tr> <td>和室2</td> <td>77件</td> <td>391人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>632件</td> <td>22,361人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用件数及び利用人数は、利用申請書により計上したものの。</p>					利用件数	利用人数	コミュニティホール	308件	20,091人	研修室	144件	1,202人	和室1	103件	677人	和室2	77件	391人	合計	632件	22,361人
	利用件数	利用人数																				
コミュニティホール	308件	20,091人																				
研修室	144件	1,202人																				
和室1	103件	677人																				
和室2	77件	391人																				
合計	632件	22,361人																				
主な財源	使用料 峰山総合福祉センター-使用料			580千円																		
	使用料 公有財産使用料			113千円																		
	諸収入 職員労働組合事務所水道使用料負担金			11千円																		
評価・課題等	<p>○適正な施設管理により福祉事務所の機能維持を図るとともに、総合福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用してもらい、市民の健康づくりと福祉の充実を図ることができた。</p> <p>○施設の老朽化が進んでおり、計画的に維持管理を行う必要がある。</p>																					
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	13網野健康福祉センター管理事業
細事業名	01 網野健康福祉センター管理事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,267千円	6,295千円	28千円	99.5%	4,806千円
目的	網野健康福祉センターを適正に維持管理することにより、住民の健康づくりとまちづくりの推進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>行政推進の拠点となる庁舎の各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。</p> <p>○センター維持管理経費 6,267千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費(トイレトーパー、血圧計記録用紙ほか) 58千円 ・光熱水費(電気、上下水道) 2,214千円 ・修繕料(空調機修理、エレベーター部品交換ほか) 2,174千円 ・通信運搬費(網野市民局電話代) 114千円 ・施設清掃委託料(センター内清掃) 255千円 ・設備維持管理及び保守点検業務委託料 1,340千円 (自家用電気工作物保安管理、空調設備ほか) ・デマンド監視業務委託料 54千円 ・火災保険料(センター棟、厨房棟、車庫) 30千円 ・その他経費(警備システム点検、清掃用具借上) 28千円 <p>〈施設の主な事業内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センター分室 (介護に関する相談、支援、予防事業) ・指定通所介護事業所 (要介護者のデイサービス) ・地域栄養支援センター (自炊困難者への配食サービス) 			
主な財源	使用料	公有財産使用料	169千円	
	諸収入	公衆電話代	2千円	
評価・課題等	<p>○住民の安心・安全のまちづくりを推進する拠点施設として維持管理に努めた。</p> <p>○経年劣化からエレベーターや空調機など機器の修繕費が増加傾向になっており、計画的に修繕等を行う必要がある。</p>			
事業所管課	市民部/網野市民局			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	14国民健康保険事業特別会計繰出金
細事業名	01 国民健康保険事業特別会計繰出金			決算書 P.140
総合計画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
512,216千円	512,217千円	1千円	99.9%	449,545千円
目的	国民健康保険事業を円滑に運営するために、国民健康保険法及び国通知等に基づき一般会計から繰出すものであり、これにより国保財政の安定化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>国民健康保険事業を安定的に運営するために、国民健康保険法及び国通知等に基づき一般会計から国民健康保険事業特別会計に所要額を繰出した。</p> <p>○保険基盤安定繰出金 320,884千円</p> <p>保険税軽減分：(府3/4、市1/4) 206,059千円 低所得者に対する7割・5割・2割の法定軽減を公費で補てん</p> <p>保険者支援分：(国1/2、府1/4、市1/4) 114,825千円 保険税軽減分の対象となった被保険者に応じて、平均保険税の一定割合を補てん</p> <p>○出産育児一時金繰出金 14,270千円 出産育児一時金の2/3を繰出すもの 平成27年度実績：51件</p> <p>○その他繰出金 177,062千円</p> <p>財政安定化事業繰出金 90,732千円 国保財政の安定化のために地方交付税措置された繰出金</p> <p>事務費繰出金 13,019千円 国民健康保険事業の運営に必要な事務費に係る繰出金</p> <p>国民健康保険事業特別会計支援分 73,311千円 国民健康保険事業の支援に係る繰出金</p>			
主な財源	国負	国民健康保険基盤安定負担金(支援分)(1/2)	57,413千円	
	府負	国民健康保険基盤安定負担金(軽減分)(3/4)	154,544千円	
	府負	国民健康保険基盤安定負担金(支援分)(1/4)	28,707千円	
評価・課題等				
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	15災害時要援護者支援事業
細事業名	01 災害時要援護者支援事業			決算書 P.140
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
382千円	388千円	6千円	98.4%	388千円
目的	災害時の避難支援プランに基づき、避難行動要支援者台帳の継続的な管理を行うため、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域の協力体制づくりを推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○需用費 158千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（区長・民生児童委員保管台帳用ファイル等） 39千円 ・印刷製本費（リーフレット、手引き印刷） 119千円 <p>○通信運搬費（郵送料） 118千円</p> <p>○委託料 106千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要支援者支援システム保守委託料 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>災害が発生する可能性がある時又は発生した場合、自力では避難が困難な在宅の高齢者や障害者の方などを、地域の方々や消防署などが協力し、助け合いながらスムーズな避難行動を行うことを目的として、避難行動要支援者登録台帳を整備している。</p> <p>この台帳は、毎年3月1日を基準日として、区長、民生児童委員の協力により見直しを行っている。</p> <p>※要支援者台帳登録者数：1,744人（平成28年3月1日現在）</p> </div> <p>【台帳共有先】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治区 ・民生児童委員 ・市役所の関係部署 <ul style="list-style-type: none"> 長寿福祉課、障害者福祉課、健康推進課、総務課、各市民局、消防本部 ・警察署 ・社会福祉協議会 ・避難支援者 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○区長、民生児童委員の協力のもと、要支援者台帳を定期更新することにより、災害時における要支援者の避難誘導等の体制を整えることができた。</p> <p>○台帳の定期更新を行い、地域住民の意識の向上を図るとともに、地域の防災組織、市の関係部署、関係機関及び関係団体との連携を強め、台帳を使った避難訓練の実施など、災害時の体制整備を強化する必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	16国民年金事務																														
細事業名	01 国民年金事務			決算書 P.140																														
総合計画	計画項目 11 地域包括医療・ケア体制の充実																																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																														
829千円	842千円	13千円	98.4%	1,362千円																														
目的	国民年金未加入者の加入促進を図るとともに、被保険者の老後の生活の安定に寄与する。																																	
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>年金に関する各種届出や申請等の受理及び審査を行うとともに、市民からの様々な年金に関する相談に対応した。また、年金受給権の確保や満額の年金が受給できるよう年金制度の周知を行った。</p> <p>あわせて、在日外国籍高齢者のうち老齢基礎年金の受給資格を得ることができなかった方へ特別給付金を支給した。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">○旅費</td> <td style="width: 40%;">国民年金事務説明会ほか</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">44千円</td> </tr> <tr> <td>○消耗品費</td> <td>事務用品</td> <td style="text-align: right;">8千円</td> </tr> <tr> <td>○通信運搬費</td> <td>進達書類郵送料</td> <td style="text-align: right;">93千円</td> </tr> <tr> <td>○使用料及び賃借料</td> <td>有料道路通行料</td> <td style="text-align: right;">4千円</td> </tr> <tr> <td>○扶助費</td> <td>外国籍高齢者特別給付金</td> <td style="text-align: right;">680千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月支給 3人</td> <td style="text-align: right;">240千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12月支給 2人</td> <td style="text-align: right;">160千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4月支給 2人</td> <td style="text-align: right;">160千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>未支給給付金 2人</td> <td style="text-align: right;">120千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: right;">※6月死亡1人、10月死亡1人</td> </tr> </table>				○旅費	国民年金事務説明会ほか	44千円	○消耗品費	事務用品	8千円	○通信運搬費	進達書類郵送料	93千円	○使用料及び賃借料	有料道路通行料	4千円	○扶助費	外国籍高齢者特別給付金	680千円		8月支給 3人	240千円		12月支給 2人	160千円		4月支給 2人	160千円		未支給給付金 2人	120千円		※6月死亡1人、10月死亡1人	
○旅費	国民年金事務説明会ほか	44千円																																
○消耗品費	事務用品	8千円																																
○通信運搬費	進達書類郵送料	93千円																																
○使用料及び賃借料	有料道路通行料	4千円																																
○扶助費	外国籍高齢者特別給付金	680千円																																
	8月支給 3人	240千円																																
	12月支給 2人	160千円																																
	4月支給 2人	160千円																																
	未支給給付金 2人	120千円																																
	※6月死亡1人、10月死亡1人																																	
主な財源	国委	国民年金取扱事務委託金	149千円																															
評価・課題等	<p>○資格取得等の受付、保険料納付にかかる相談・保険料申請免除等の事務を適正に行い、国民年金未加入者や保険料未納者の減少に努め、年金受給権の確保に寄与することができた。また、外国籍高齢者への特別給付金の支給により、生活の維持・向上に寄与することができた。</p> <p>○年金制度は法改正が頻繁に行われるため、今後も日本年金機構との協力・連携を強化し、知識の向上と活用、適正な事務処理を行う必要がある。</p>																																	
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課																																	

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	17支え合いの地域づくり推進事業
細事業名	01 支え合いの地域づくり推進事業			決算書 P.142
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
45千円	50千円	5千円	90.0%	50千円
目的	地域で誰もがお互いに助け合い、支え合って暮らせる地域づくりを目指し、「支え合いの地域づくり委員会」にて、京丹後市地域福祉計画の具体的施策を検討、推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○支え合いの地域づくり推進委員会 平成24年3月に策定した「第2次京丹後市地域福祉計画」の次期計画の策定に向けた取り組みを進める中、平成27年度は「京丹後市の地域福祉に関するアンケート調査」の内容について、検討を行った。</p> <p>委員会数：4回 委員数：9人 委員任期：平成27年4月1日から平成28年3月31日まで</p> <p>・報償費（支え合いの地域づくり推進委員協力謝礼品） 45千円</p>			
主な財源				
評価・課題等	アンケート調査の調査事項を委員会で検討することにより、市民の意見を反映した効果的なアンケート調査を行うことができ、地域福祉計画の具体的施策を検討、推進することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	20地域福祉計画策定事業
細事業名	01 地域福祉計画策定事業			決算書 P.142
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
522千円	633千円	111千円	82.4%	827千円
目的	第2次京丹後市地域福祉計画（平成24年度から28年度までの計画）の更新に向け、市民2,000人に対しアンケートを実施し、地域の現状と課題を把握する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○需用費 38千円 ・消耗品費（アンケート用紙等） 28千円 ・印刷製本費（返信用封筒印刷） 10千円</p> <p>○アンケート郵送及び返信郵便料 293千円</p> <p>○アンケート集計業務人材派遣委託料 191千円</p> <p>実施時期 平成28年1月 送付人数 2,000人 回収件数 835件 回収率 41.8%</p>			
主な財源				
評価・課題等	○無作為抽出によるアンケート調査で、市民の方々に幅広く意見を聞くことができ、今後の計画策定の貴重な資料となった。 ○アンケート調査の結果を踏まえ、地域の現状と課題が反映された地域福祉計画の策定に取り組む必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	22くらしとしごと寄り添い支援事業																				
細事業名	01 くらしとしごと寄り添い支援事業			決算書 P.142																				
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																				
21,109千円	22,522千円	1,413千円	93.7%	24,566千円																				
目的	寄り添い支援総合サポートセンターの機能を活用し、相談を幅広く受け付け、自己解決が困難な方に対して、関係機関との連携した支援により、問題の解決を図る。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>広報等による周知だけではなく、関係機関との連携や地域の民生児童委員、区長等との連携により、経済的困窮及び困窮するおそれのある人を掘り起し、生活困窮者自立支援制度を活用して就労支援やサービスへのつなぎを、伴走型で行った。</p> <p>また、就労意欲や生活・就労能力等の向上のためのセミナーや研修、就労体験事業、緊急時の一時宿泊事業、生活保護世帯対象の学習支援等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報酬（嘱託職員6人） 12,567千円 ・共済費（嘱託職員6人） 2,016千円 ・賃金（臨時職員（学習支援スポット）3人） 202千円 ・報償費（シンポジウム講師謝金3人） 326千円 ・旅費（費用弁償、研修及び会議旅費） 830千円 ・需用費（事務用品費、コピー代、光熱水費等） 1,542千円 ・役務費（フリーダイヤルを含む電話料金等） 1,031千円 ・委託料（各種就労準備セミナー、ホームページ管理） 1,350千円 ・使用料及び賃借料（緊急一時宿泊用居室借上、自動車借上等） 876千円 ・備品購入費（パソコン及びハードディスク購入費 1台） 225千円 ・負担金、補助及び交付金（住宅支援給付費1人4か月分） 144千円 <p>＜活動状況＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規相談者数</th> <th>プラン作成数</th> <th>前年度引継ぎ数</th> <th>就労者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>178人（うち市民相談100人）</td> <td>46件</td> <td>18件</td> <td>39人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※生活困窮者自立支援法施行による、集計方法。下記は参考数値。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規相談者数</th> <th>支援対象者数</th> <th>前年度引継ぎ数</th> <th>就労者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>228人（うち市民相談143人）</td> <td>108件</td> <td>59件</td> <td>38人</td> </tr> </tbody> </table>				年度	新規相談者数	プラン作成数	前年度引継ぎ数	就労者数	H27	178人（うち市民相談100人）	46件	18件	39人	年度	新規相談者数	支援対象者数	前年度引継ぎ数	就労者数	H26	228人（うち市民相談143人）	108件	59件	38人
年度	新規相談者数	プラン作成数	前年度引継ぎ数	就労者数																				
H27	178人（うち市民相談100人）	46件	18件	39人																				
年度	新規相談者数	支援対象者数	前年度引継ぎ数	就労者数																				
H26	228人（うち市民相談143人）	108件	59件	38人																				
主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金	12,506千円																					
	国補	生活困窮者自立支援補助金	2,412千円																					
	使用料	公有財産使用料	373千円																					
評価・課題等	生活困窮者自立支援法施行前から、モデル事業として先進的に実施してきたため、各事業を円滑に実施することができ就労者数も昨年度を上回った。																							
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																							

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	23臨時福祉給付金給付事業						
細事業名	01 臨時福祉給付金給付事業			決算書 P.144						
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額						
73,869千円	322,909千円	249,040千円	22.8%	90,909千円						
目的	給付金を支給することで、低所得者の消費税率引上げによる影響を緩和させる。また新たな給付金により、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得高齢者を支援する。									
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時福祉給付金事業費 64,236千円 <ul style="list-style-type: none"> 支給額 1人につき6,000円 支給決定人数 10,706人（受付期間：平成27年8月3日～平成28年1月29日） ○臨時福祉給付金事務費 8,139千円 <ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務手当等 564千円 普通旅費 2千円 消耗品費（申請書用紙、トナー代） 203千円 印刷製本費（申請書類、封筒、チラシ） 632千円 通信運搬費（郵送料） 1,902千円 手数料（新聞折込手数料、振込料金取扱手数料） 872千円 使用料（有料道路使用料） 4千円 委託料（事務補助業務人材派遣委託料）4人 2,521千円 負担金（システム改修負担金） 1,439千円 ○臨時福祉給付金過年度国庫支出金返還金 782千円 ○高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金支給のための準備事務費 712千円 <ul style="list-style-type: none"> 時間外勤務手当等 52千円 普通旅費 8千円 印刷製本費（申請書類、封筒、チラシ） 488千円 委託料（事務補助業務人材派遣委託料） 155千円 使用料（有料道路使用料） 9千円 <table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>74,239千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.5%</td> </tr> </table> <p>■平成28年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時福祉給付金給付事業 248,670千円 				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	74,239千円		実質的な予算執行率	99.5%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	74,239千円								
	実質的な予算執行率	99.5%								
主な財源	国補	臨時福祉給付金給付事業費補助金（10/10）	64,236千円							
	国補	臨時福祉給付金給付事務費補助金（10/10）	8,851千円							
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○臨時福祉給付金制度に基づく事務を適正に行い、非課税世帯に対し給付金を支給することができた。 ○新たに支給することとなった高齢者向け年金生活者等支援臨時福祉給付金について、円滑に支給準備を行い、申請受付を行うことができた。 									
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課									

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	24絆ネット構築事業
細事業名	01 絆ネット構築事業			決算書 P.144
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
2,597千円	2,597千円	0千円	100.0%	2,597千円
目的	誰もが住み慣れた地域で孤立することなく安心して健やかに暮らせるよう、地域での重層的な見守り、支え合い、助け合いの新たな仕組みを構築する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○絆ネット構築事業委託料 2,597千円 委託先：京丹後市社会福祉協議会</p> <p>【実施事業及び成果】 絆ネットコーディネーター（1人）を設置し、次の活動を推進した。</p> <p>1 小地域福祉活動等の拡充を含めた地域見守りの推進 地域の状況に応じた見守り活動を推進するため、各地区の状況を調査し、小地域福祉活動に取り組んでもらえるよう地域に働きかけを行った。その結果、取り組む地区が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 小地域いきいきネットワーク実施地区 平成26年度：129地区→平成27年度：136地区（7地区の増加） 地域サロン実施地区 平成26年度：95地区→平成27年度：100地区（5地区の増加） <p>2 企業（関係機関）等による見守り活動の推進 地域の要支援者（高齢者、障害者、ひとり親家庭など）のSOSを早期にキャッチし、関係機関につなげるため、市を始めとする推進機関、企業（関係機関）等の協力事業所、地域住民の三者でネットワークを構築し、高齢者等を見守る仕組みづくりを行った。</p> <p>※高齢者等見守りネットワーク協力事業者 平成28年3月現在 189事業所</p>			
主な財源	府補	絆ネット構築支援事業補助金（2/3）	1,731千円	
評価・課題等	<p>少子高齢化、核家族化が進み、地域でのつながりが希薄化し、孤立死等が社会問題化する中、企業等協力事業所などによる見守りネットワークを構築するとともに、地域において、自治会をはじめとする地域住民や関係する団体等の参加による見守りネットワークを進め、従来から展開している地域福祉推進組織によるサロン活動や見守り活動などの小地域福祉活動の更なる推進を図ることができた。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	50社会福祉総務一般経費
細事業名	01 社会福祉総務一般経費			決算書 P.144
総合計画	計画項目	20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
10,442千円	10,736千円	294千円	97.2%	11,010千円
目的	福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費のほか、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加を促進するため、補助金を交付し、福祉の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○福祉事務所共通物品購入経費（事務用品、封筒等） 3,639千円</p> <p>○福祉事務所公用車管理経費 4,370千円 修繕料（公用車車検、定期点検、修理費等） 1,561千円 燃料費 1,863千円 役務費（自動車登録、自賠責保険料等） 811千円 公課費（自動車重量税） 135千円</p> <p>○社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング受講料（1人） 69千円</p> <p>○社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング研修旅費（1人） 81千円 場所：神奈川県葉山町（ロフォス湘南）</p> <p>○普通旅費 217千円</p> <p>○母子家庭奨学金申請書に関する通知書郵送料 45千円</p> <p>○印刷機リース料等 341千円</p> <p>○その他経費（近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金ほか） 17千円</p> <p>○ごみ処理手数料 37千円</p> <p>○社会福祉団体事業補助金 1,626千円 母子寡婦福祉会活動補助金 500千円 父子会活動補助金 7千円 障害者団体への活動補助金 1,119千円</p>			
主な財源	国委	厚生労働統計調査事務委託金	1千円	
	府補	援護事務交付金（10/10）	113千円	
	諸収入	市有自動車損害共済金	84千円	
評価・課題等	<p>○福祉事務所の円滑な事務運営に資することができた。</p> <p>○福祉事務所の運営経費等について、一層の経費節減に努めていく必要がある。</p> <p>○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	03心身障害者扶養共済制度掛金助成事業
細事業名	01 心身障害者扶養共済制度掛金助成事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
594千円	664千円	70千円	89.4%	664千円
目的	心身障害者の保護者が加入する京都府心身障害者扶養共済制度の掛金の一部を助成し、将来に対し保護者が抱く不安の軽減を図り、心身障害者の福祉の増進に資する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>心身障害者の保護者が納入した京都府心身障害者扶養共済制度の1口目の掛金について、京都府心身障害者扶養共済条例施行規則の減免対象外となる市民税課税（所得割）加入者に対し、3分の1を助成した。</p> <p>※加入者等が生活保護受給対象者である場合又は市民税非課税（所得割）の場合は、掛金が全額減免される。</p> <p>○心身障害者扶養共済制度掛金助成金 594千円 交付時期：毎年9月（4～9月分）及び3月（10～3月分） 対象者数：9月交付15人（交付額304千円） 3月交付13人（交付額290千円）</p>			
主な財源				
評価・課題等	京都府の減免措置に加え、加入者掛金の3分の1を市が助成することにより、加入者の掛金負担の軽減を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	04通所費助成事業
細事業名	01 通所費助成事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目	21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,769千円	3,896千円	127千円	96.7%	3,896千円
目的	共同作業所等に通所している利用者の通所に係る交通費を助成し、障害者及びその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者福祉の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費を助成することにより、障害者及びその保護者の経済的負担を軽減し、社会参加と訓練の促進に努めた。</p> <p>○共同作業所等通所費助成金 3,769千円 助成対象：施設通所のために利用する公共交通機関の運賃全額 延べ人数：813人（12事業所） 峰山共同作業所、みなやま作業所、ゆうゆう作業所 障害児者多機能型生活支援センターろむ、すまいる おおみや共同作業所、だるまハウス、四つ葉ハウス 生活介護事業あおぞら、かがやきの杜つばさ NPO法人みらい、NPO法人つなく</p>			
主な財源				
評価・課題等	障害者及びその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者の職業訓練と社会参加の促進へつながり、障害者の自立生活を支援することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	07障害者等手当支給事業
細事業名	01 障害者等手当支給事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
26,184千円	26,330千円	146千円	99.4%	28,592千円
目的	常時介護の必要な在宅重度障害児者への手当支給及び重度障害児者を自宅で介護している介護者への支援金支給により経済的援助を行い、障害者福祉の向上に努める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給した。また、在宅で重度障害児者を介護する家族等への経済的支援策として、市独自制度の介護支援金を支給した。</p> <p>(市独自制度)</p> <p>○在宅障害者介護支援金 700千円</p> <p>8月支給分 14件(平成27年7月基準日) 700千円</p> <p>2月支給分 0件(平成28年1月基準日)</p> <p>(国制度)</p> <p>○障害児福祉手当 4,111千円</p> <p>手当月額:14,140円(平成27年3月分まで)</p> <p>14,480円(平成27年4月から)</p> <p>支給人数:延べ285人</p> <p>○特別障害者手当 21,373千円</p> <p>手当月額:26,000円(平成27年3月分まで)</p> <p>26,620円(平成27年4月から)</p> <p>支給人数:延べ806人</p> <p>※支給対象月:平成27年2月~平成28年1月(年4回支給)</p> <p>ただし、資格喪失者に対しては随時支給</p>			
主な財源	国負 特別障害者手当等給付費負担金(3/4)			19,244千円
評価・課題等	手当・支援金の支給により、在宅重度障害児者等の経済的負担の軽減を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	08じん臓機能障害者通院交通費助成事業																																																												
細事業名	01 じん臓機能障害者通院交通費助成事業			決算書 P.146																																																												
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進																																																															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																																																												
1,885千円	2,021千円	136千円	93.2%	2,321千円																																																												
目的	じん臓機能障害者が慢性透析療法による治療を受ける際の通院交通費について、助成金を交付することで、経済的な負担を軽減し、福祉の増進に努める。																																																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>慢性透析療法を行うため通院する必要があるじん臓機能障害者の交通費と医療機関通院証明書料の一部を助成し、経済的負担を軽減することにより、福祉の増進に努めた。</p> <p>○じん臓機能障害者通院交通費助成 1,668千円</p> <p>公共交通機関での通院交通費又は片道20kmを超える自家用車での通院実費(25円/km)のいずれかのうち、月10千円を上限としてその1/2を助成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>実人数</th> <th>助成額</th> <th>地域</th> <th>実人数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>6人</td> <td>200千円</td> <td>丹後町</td> <td>4人</td> <td>147千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>3人</td> <td>77千円</td> <td>弥栄町</td> <td>2人</td> <td>109千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>4人</td> <td>130千円</td> <td>久美浜町</td> <td>20人</td> <td>1,005千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td colspan="2">39人</td> <td>1,668千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○じん臓機能障害者通院証明書料助成金 217千円</p> <p>通院交通費助成に必要な医療機関の通院証明書の取得に対し、1回2千円を上限として助成する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>実人数</th> <th>助成額</th> <th>地域</th> <th>実人数</th> <th>助成額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>6人</td> <td>35千円</td> <td>丹後町</td> <td>4人</td> <td>18千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>3人</td> <td>9千円</td> <td>弥栄町</td> <td>2人</td> <td>8千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>4人</td> <td>19千円</td> <td>久美浜町</td> <td>20人</td> <td>128千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td colspan="2">39人</td> <td>217千円</td> </tr> </tbody> </table>				地域	実人数	助成額	地域	実人数	助成額	峰山町	6人	200千円	丹後町	4人	147千円	大宮町	3人	77千円	弥栄町	2人	109千円	網野町	4人	130千円	久美浜町	20人	1,005千円	合計			39人		1,668千円	地域	実人数	助成額	地域	実人数	助成額	峰山町	6人	35千円	丹後町	4人	18千円	大宮町	3人	9千円	弥栄町	2人	8千円	網野町	4人	19千円	久美浜町	20人	128千円	合計			39人		217千円
地域	実人数	助成額	地域	実人数	助成額																																																											
峰山町	6人	200千円	丹後町	4人	147千円																																																											
大宮町	3人	77千円	弥栄町	2人	109千円																																																											
網野町	4人	130千円	久美浜町	20人	1,005千円																																																											
合計			39人		1,668千円																																																											
地域	実人数	助成額	地域	実人数	助成額																																																											
峰山町	6人	35千円	丹後町	4人	18千円																																																											
大宮町	3人	9千円	弥栄町	2人	8千円																																																											
網野町	4人	19千円	久美浜町	20人	128千円																																																											
合計			39人		217千円																																																											
主な財源																																																																
評価・課題等	じん臓機能障害を抱える方が安心して治療に専念できるよう、通院交通費と通院証明書料の取得費に対し助成金を交付することで、経済的な負担の軽減を図ることができた。																																																															
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課																																																															

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	09障害者福祉施設整備助成事業
細事業名	01 障害者福祉施設整備助成事業			決算書 P.146
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,892千円	5,900千円	8千円	99.8%	5,900千円
目的	社会福祉法人が施設整備時に受けた借入金の元金償還額及び用地確保に要した経費等の一部を助成することで、安定した障害福祉サービスの充実を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>施設経営の安定化、市内における障害福祉サービスの充実を図るため、施設整備における借入金の元金償還額等の助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○桃山の里土地借用料（面積：3,710.39㎡） 882千円 知的障害者施設「桃山の里」の土地借用料 ○あみの福祉会施設整備事業借入償還金補助金 3,330千円 施設整備借入金のうち元金償還額の全額補助（平成28年度まで） ○久美の浜福祉会施設整備事業借入償還金補助金 1,680千円 施設整備借入金のうち元金償還額の一部補助（平成31年度まで） 			
主な財源				
評価・課題等	障害福祉サービスを確保するための施設整備借入金の一部等に対する助成を行うことで、円滑な事業運営の支援と障害者福祉サービスの充実を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	10障害福祉サービス事業																												
細事業名	01 障害福祉サービス事業			決算書 P.146																												
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進																															
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																												
1,431,388千円	1,432,035千円	647千円	99.9%	1,473,257千円																												
目的	障害のある方が自立した日常及び社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付その他の支援を行い、障害者福祉を推進する。																															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>障害のある方の心身の状況や生活環境に応じて、障害福祉サービスの給付を決定するとともに安定したサービス提供が出来るよう事業所への支援等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○手数料 1,864千円 障害福祉サービスにかかる審査支払手数料 ○負担金及び補助金 4,342千円 サービス利用者に対し各種補助要綱に基づく支援を実施した事業所に対する補助金等 <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉サービス等利用支援負担金：331千円 ・児童サービス利用支援：347千円 ・短期入所サービス利用支援：1,247千円 ・最重度強度行動障害者特別支援：2,236千円 ・重度心身障害児者ショートステイ利用支援：181千円 ○扶助費 1,425,182千円 <ul style="list-style-type: none"> ・障害児（者）が各種サービスを利用するための介護給付費等：1,421,404千円 <p>※介護給付費等関係〔延べ利用者数（平成28年3月末支給決定者数）〕</p> <table border="1"> <tr> <td>訪問系（居宅介護等）</td> <td>1,444人（160人）</td> <td>療養介護医療</td> <td>135人（11人）</td> </tr> <tr> <td>日中活動系（介護）</td> <td>3,001人（249人）</td> <td>計面相談</td> <td>1,556人（539人）</td> </tr> <tr> <td>日中活動系（訓練）</td> <td>2,589人（234人）</td> <td>児童発達支援</td> <td>599人（68人）</td> </tr> <tr> <td>短期入所</td> <td>448人（120人）</td> <td>放課後等デイサービス</td> <td>423人（40人）</td> </tr> <tr> <td>施設入所</td> <td>1,184人（98人）</td> <td>保育所等訪問支援</td> <td>21人（23人）</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助</td> <td>831人（84人）</td> <td>障害児相談支援</td> <td>292人（108人）</td> </tr> <tr> <td>地域相談支援</td> <td>7人（1人）</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス利用に係る利用者負担を軽減する支援給付費等：3,778千円 <p>※高額障害者福祉サービス及び障害者福祉サービス等利用支援費支給関係 高額適用（延べ46人）、補装具（延べ14人）、更生医療（延べ513人） 育成医療（1人）、入所者医療（延べ29人）</p>				訪問系（居宅介護等）	1,444人（160人）	療養介護医療	135人（11人）	日中活動系（介護）	3,001人（249人）	計面相談	1,556人（539人）	日中活動系（訓練）	2,589人（234人）	児童発達支援	599人（68人）	短期入所	448人（120人）	放課後等デイサービス	423人（40人）	施設入所	1,184人（98人）	保育所等訪問支援	21人（23人）	共同生活援助	831人（84人）	障害児相談支援	292人（108人）	地域相談支援	7人（1人）		
訪問系（居宅介護等）	1,444人（160人）	療養介護医療	135人（11人）																													
日中活動系（介護）	3,001人（249人）	計面相談	1,556人（539人）																													
日中活動系（訓練）	2,589人（234人）	児童発達支援	599人（68人）																													
短期入所	448人（120人）	放課後等デイサービス	423人（40人）																													
施設入所	1,184人（98人）	保育所等訪問支援	21人（23人）																													
共同生活援助	831人（84人）	障害児相談支援	292人（108人）																													
地域相談支援	7人（1人）																															
主な財源	国負	介護給付費・訓練等給付費、障害児通所給付費負担金（1/2）	708,237千円																													
	府負	介護給付費・訓練等給付費、障害児通所給付費負担金（1/4）	355,337千円																													
	府補	障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2）	1,776千円																													
	府補	心身障害者サービス利用支援事業費補助金（1/2）	797千円																													
	府補	重度心身障害児者ショートステイ利用支援事業費補助金（1/2）	91千円																													
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律（障害者総合支援法）」及び「児童福祉法」に基づいたサービス支給決定及び給付を適切に実施することができた。 ○利用者の経済状況に応じた負担軽減を実施することができた。 																															
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課																															

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	11自立支援医療事業
細事業名	01 自立支援医療事業			決算書 P.148
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
26,879千円	27,509千円	630千円	97.7%	19,449千円
目的	障害の除去又は程度の軽減を目的に、都道府県が指定する医療機関で手術や血液透析等の医療を受けた場合、必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療費と身体に障害がある、又は障害が残るとされる病気にかかっている18歳未満の児童が手術等を行うことでその治療効果が期待できるものについて育成医療費を給付した。療養介護サービス利用者に対しては療養介護医療費を給付した。更生医療対象外の在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成した。			
	○自立支援医療給付費 16,210千円			
	障害名	肢体不自由、心臓機能障害、腎臓機能障害、免疫機能障害		
	認定人数	107人		
	医療の主な内容	人工関節置換術、ペースメーカー植込術、人工透析等		
	○自立支援医療(育成医療)給付費 701千円			
	障害名	音声・言語・そしゃく機能障害、肢体不自由、心臓機能障害等		
	認定人数	9人		
	医療の主な内容	口蓋形成術、アキレス腱延長術、肺動脈形成術		
	○自立支援医療特別対策事業給付費 131千円			
障害名	呼吸器機能障害、ぼうこう又は直腸の機能障害			
認定人数	3人			
対象医療	在宅酸素療法、ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患及びストマ周辺の感染防止等の治療			
○自立支援医療(療養介護医療)給付費 9,799千円				
対象者	療養介護サービス受給者			
認定人数	11人			
対象医療	療養介護サービス受給者の療養医療費			
○審査支払事務手数料(国保連合会及び社会保険診療報酬支払基金) 38千円				
主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金(1/2)	20,547千円	
	府負	障害者自立支援医療費負担金(1/4)	6,677千円	
	府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金(1/2)	65千円	
評価・課題等	医療費の負担を軽減することにより、障害者本人が安心して治療に専念することができ、障害者の日常生活能力の回復、改善を図ることができた。			
	事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	12補装具事業	
細事業名	01 補装具事業			決算書 P.148	
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
14,227千円	14,558千円	331千円	97.7%	13,818千円	
目的	身体障害児者等の身体機能を補完又は代替する補装具の購入及び修理に係る費用を支給することで、障害児者の安定した日常生活及び社会生活の維持に寄与する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	障害児者が安定した日常生活及び社会生活を維持できるよう、補装具の購入及び修理に係る費用を支給した。				
	○身体障害児補装具給付費 5,213千円				
	・交付件数	26件	公費負担額	4,507千円	
	・修理件数	5件	公費負担額	706千円	
	○身体障害者補装具給付費 9,014千円				
	・交付件数	65件	公費負担額	7,165千円	
	・修理件数	46件	公費負担額	1,849千円	
	主な財源	国負	障害児者補装具給付費負担金(1/2)	6,909千円	
		府負	障害児者補装具給付費負担金(1/4)	3,557千円	
		評価・課題等	補装具の購入及び修理に係る費用を支給することによって、障害児者の経済的負担が軽減され、生活上の不便さを緩和したり、身体的条件を改善することができた。		
事業所管課	健康長寿福祉部/障害者福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	13地域生活支援事業
細事業名	01 地域生活支援事業			決算書 P.148
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
161,674千円	163,322千円	1,648千円	98.9%	176,895千円
目的	障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制をつくり、障害者福祉の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	事業名等	決算額	延べ件数等	
	意思疎通支援事業 ※手話通訳者の設置、手話通訳者・要約筆記奉仕員等の派遣	6,502千円	通訳等回数： 314回	
	手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業	475千円	受講者数： 9人	
	在宅重度身体障害者訪問入浴サービス事業	3,152千円	利用回数： 237回	
	障害者相談支援事業（2事業者に委託）	17,200千円	相談件数： 1,445件	
	移動支援事業（9事業者に委託） ※屋外での移動が困難な方への外出支援	10,452千円	利用時間： 4,359時間	
	地域活動支援センター事業 ※創作的活動等の場を提供	53,754千円	利用者数： 1,482人	
	障害者・児童日中一時支援事業 ※日中活動の場を確保	44,503千円	利用回数： 9,822回	
	重度障害児者入院時コミュニケーション支援事業	170千円	利用時間： 106時間	
	障害者虐待防止対策費用 ※専門職の派遣等	25千円	派遣件数： 2件	
	自動車改造費・免許取得助成事業	298千円	交付者数： 3人	
	福祉外利用券及び福祉内利用券交付事業	5,266千円	交付者数： 1,201人	
	成年後見制度利用支援事業	473千円	利用者数： 4人	
	難聴児補聴器購入費助成事業	18千円	交付件数： 2件	
	京都歯科サービスセンター北部診療所運営事業	157千円	患者数： 19人	
	日常生活用具給付事業 ※ストマ用装具等用具の給付	19,172千円	交付件数： 1,637件	
精神障害者社会復帰教室	57千円	開催回数： 21回		
主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）	41,226千円	
	府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）	20,612千円	
評価・課題等	○相談支援をはじめ各種事業を社会福祉法人等に委託し、総合的に支援する体制を充実させることで、円滑に事業を実施することができた。			
	○各種実施事業について、ニーズに応じたサービス提供の一層の充実が図られるよう事業所と連携して進める必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	14障害者就労支援事業
細事業名	01 障害者就労支援事業			決算書 P.150
総合計画	計画項目 21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
7,958千円	8,174千円	216千円	97.3%	9,030千円
目的	障害者の就労等を支援する事業を実施し、障害者の就労促進と自立支援を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○障害者短期職場実習委託料 社会福祉法人に事業委託し、4人に市役所や図書館での職場実習を提供	160千円		
	○障害者短期職場実習事業補助金 障害者短期職場実習の実習者に対し奨励金を給付	12千円		
	○障害者職場実習促進事業補助金 障害者の職場実習を積極的に受け入れた2企業と、その企業及び実習者をサポートした1社会福祉法人及び実習者2人に対し奨励金を支給	70千円		
	○地域自立支援協議会運営強化事業 京丹後市自立支援協議会において、研修会や講演会、先進地視察等を実施	123千円		
	・研修会講師謝金（交通費含む。3人分）			
	・「GSユアサ・京都庵」先進地視察 12月16日（就労支援部会）			
	・「丹後で発達障害の子どもを育てるために～多職種連携と支援者のスキルアップ～」研修会 10月1日（障害児支援部会）			
	・「生活支援の基本～私たちの経験から再考～」ヘルパー研修会 3月11日（在宅支援部会）			
	○障害者施設製品販売支援事業補助金 市内各障害者施設で製作している製品の販売所及び障害者の職場実習の場として設置されている常設店舗の運営経費の一部を助成	6,526千円		
	○ほっとはあと商品交流会実行委員会補助金 「はあと&きらめきワークフェスタin京丹後」実行委員会への補助 11月15日（日）丹後王国「食のみやこ」 講演会・アート展・販売会・ステージ 4部門開催 障害者製品の魅力を広く全国へ発信。障害のある方の新たな才能を発掘。	1,067千円		
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	3,050千円	
評価・課題等	○就労支援事業の活用及び「はあと&きらめきワークフェスタin京丹後」の開催により、障害のある方の就労意欲の向上と社会参加の促進を図ることができた。			
	○自立支援協議会就労支援部会において、事業主への障害者雇用及び実習受入を働きかける企業個別訪問を実施することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／障害者福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	02障害者福祉費	50障害者福祉一般経費
細事業名	01 障害者福祉一般経費			決算書 P.150
総合計画	計画項目	21 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
69,405千円	69,980千円	575千円	99.1%	8,965千円

目的 障害者福祉に関する各事業を行う上で必要となる事務を行うとともに、障害者総合支援法で規定されている審査会の設置・運営により、事業を円滑に行う。

主要な事務・事業及び成果の概要

障害者福祉に関する会議参加、施設・病院訪問、研修参加等の旅費、審査会に係る経費及びその他の一般事務に係る経費を支出した。

- 報酬：障害程度区分等認定審査会委員報酬（5人、12回開催） 902千円
- 報償費：身体・知的障害者相談員謝金（25人） 763千円
- 賃金：臨時職員賃金（認定調査等） 81千円
- 旅費 365千円
 - 費用弁償（認定審査会委員・障害者相談員 延べ61件） 72千円
 - 普通旅費（ケース会議・担当者会議・認定調査） 293千円
- 需用費（事務消耗品ほか） 314千円
- 役務費 1,084千円
 - 障害程度区分医師意見書作成料（215件）ほか 1,016千円
 - 通信運搬費 61千円
 - ボランティア保険料 7千円
- 委託料 9,834千円
 - 障害支援区分認定調査委託料（178件） 1,210千円
 - 障害福祉専用システム保守・改修委託料 6,913千円
 - 事務補助業務人材派遣委託料ほか 1,711千円
- 使用料及び賃借料（ソフトウェア使用料、自動車借上料等） 826千円
- 過年度国庫支出金返還金 54,936千円
 - 障害者自立支援給付費国庫負担金等 53,135千円
 - 障害児施設措置費国庫負担金 1,742千円
 - 特別障害者手当等給付費国庫負担金 59千円
- 負担金（丹後視力障害者福祉センター、全国ろうあ体育大会負担金） 300千円

主な財源

- 国補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/2） 1,133千円
- 国補 社会保障・税番号制度以私整備費補助金（2/3） 2,868千円
- 府補 障害者地域生活支援事業費補助金（1/4） 567千円

評価・課題等

適正な執行を行うことにより、障害者福祉に関する事務事業を円滑に行うことができた。

事業所管課 健康長寿福祉部／障害者福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	01敬老祝い事業
細事業名	01 敬老祝い事業			決算書 P.152
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
25,198千円	25,324千円	126千円	99.5%	26,730千円

目的 敬老会事業に対し補助金を交付するとともに、喜寿及び100歳以上の各対象者に対し祝い品を贈呈し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表す。

主要な事務・事業及び成果の概要

高齢者の長寿をお祝いし、今後もますます元気で健康に暮らしていただくことを祈念するため、地区主催での敬老会実施を支援した。また、喜寿及び100歳以上の方へ祝い品を贈呈した。

■敬老会の主な内容

式典：記念品の贈呈、敬老の言葉、祝電披露
余興：演芸、合唱、踊りほか

(単位：人、%)

敬老会						祝い品贈呈者数	
町別	主催	対象者数 (75歳以上)	参加者数	参加率(%)		100歳以上	喜寿
				参加率	前年度		
峰山	地区等	2,188	1,063	48.6	43.7	11	120
大宮	地区等	1,603	598	37.3	38.2	10	89
網野	地区等	2,691	970	36.0	35.6	33	162
丹後	地区等	1,284	566	44.1	48.3	15	66
弥栄	地区等	1,113	594	53.4	54.0	11	50
久美浜	地区等	2,255	767	34.0	36.9	29	119
合計		11,134	4,558	40.9	42.1	109	606

○敬老会補助金（地区等開催） 24,050千円

敬老会の補助金対象年齢は、75歳以上（補助金2,000円/人+基礎額）
※基礎額：100人まで10,000円。50人増えるごとに5,000円増。

○喜寿、100歳以上の方への祝い品・筆耕料 1,148千円

主な財源

- 繰入金 地域振興基金繰入金 15,000千円
- 市債 過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債） 6,600千円

評価・課題等

長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表すことができた。

事業所管課 健康長寿福祉部／長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	02老人保護措置事業	
細事業名	01 老人保護措置事業			決算書	P.152
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
140,080千円	144,188千円	4,108千円	97.1%	150,179千円	
目的	概ね65歳以上で、家族や住居の状況や経済的理由等により、居宅生活の継続が困難な方を養護老人ホームに入所措置し、生きがいのある健康で安らかな生活を確保する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	老人福祉法に基づき、在宅での生活が困難な高齢者を入所判定委員会の判定結果により養護老人ホームに入所措置し、対象者の心身の健康の保持及び生活の安定を図った。				
	○養護老人ホーム入所措置事務費 38千円				
	<ul style="list-style-type: none"> ・入所及び退所事務手続時の職員旅費及び有料道路通行料 22千円 ・入所判定委員会委員報償金及び費用弁償 16千円 報償費(4,000円×委員2人×2回)				
	○養護老人ホーム入所措置費 140,042千円				
	養護老人ホーム入所者数				
	施設名	26年度末入所者数	27年度中異動	27年度末入所者数	
			入所	退所	
	満寿園(京丹後市)	55人	7人	5人	57人
	成相山青嵐荘(宮津市)	9人	0人	2人	7人
	三愛荘(福知山市)	2人	0人	0人	2人
	長生園(南丹市)	1人	0人	1人	0人
	合計	67人	7人	8人	66人
主な財源	負担金	老人福祉施設措置費負担金			28,327千円
評価・課題等	○地域包括支援センター等との連携により、申請者の状況把握に努め、入所措置をすることにより居住生活の継続が困難な方の生活改善に寄与した。 ○今後、高齢化に伴い入所希望者も増えることが予想されるが、引き続き適切な入所措置に努める必要がある。				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	03老人クラブ活性化支援事業	
細事業名	01 老人クラブ活性化支援事業			決算書	P.152
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
8,144千円	8,835千円	691千円	92.1%	8,835千円	
目的	老人クラブの活動に対して補助を行うことにより、老人クラブの育成、高齢者の生きがいづくり及び健康づくりを図り、健康長寿のまちづくりを推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	老人クラブの運営に係る経費、老人クラブが行う友愛訪問活動事業、健康づくり事業、広報・加入促進事業等に対し、補助金を交付した。				
	<ul style="list-style-type: none"> ・単位老人クラブ(97クラブ、2,468人)の活動に対する補助 4,516千円 ・市老人クラブ連合会の活動に対する補助 372千円 ・友愛訪問活動事業に対する補助 279千円 ※7・9・10・11・3月の5回、管内の介護施設7か所を訪問し、慰問品等をプレゼントした。 ・各種スポーツ大会、健康づくり事業への補助 700千円 ・市老人クラブ連合会の発行する広報誌に対する補助(年2回発行) 553千円 ・市老人クラブ連合会事務局員設置(1人)に対する補助 1,200千円 ・府老人クラブ連合会への研修会参加に対する補助 284千円 ・会員拡大・加入促進事業に対する補助 150千円 ・世代間交流事業に対する補助 90千円 				
主な財源	府補	老人クラブ助成事業費補助金(2/3)			4,438千円
	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			3,000千円
評価・課題等	○老人クラブが行う健康づくり事業、社会奉仕事業等を支援することで事業を円滑に実施することができ、健康保持及び社会貢献に大きく寄与した。 ○会員数は年々減少傾向にあることから、今後も会員拡大、加入促進をするための活性化の取組を図る必要がある。				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	04福祉有償運送運営助成事業	
細事業名	01 福祉有償運送運営助成事業			決算書	P.152
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
16,168千円		20,496千円		4,328千円	78.8 % 19,876千円

目的 福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対し、移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域社会の中で引き続き自立した生活を営めるよう支援し、地域福祉の向上を図った。また、低所得者が利用した場合に事業者が減免した利用料に対し、補助を行った。

○社会福祉協議会 事業実績

実利用者数 233人 (H26 285人)
延べ利用回数 10,419回 (H26 10,844回)
福祉有償運送事業費補助金 15,793千円
総事業費 (24,612千円) - 利用料等収入 (8,819千円)

○実績内訳 (平成28年3月末現在) (単位：人、回)

	区分	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計
利用登録者数等	登録者数	103	92	134	72	62	60	523
	実利用者	43	38	54	22	32	44	233
対象者延べ利用回数	高齢者	554	629	901	237	291	442	3,054
	透析者	1,175	416	662	681	789	3,042	6,765
	障害者	92	173	114	16	49	156	600
	合計	1,821	1,218	1,677	934	1,129	3,640	10,419

○利用料減免補助 (※京都府地域包括ケア総合交付金事業) 375千円
・社会福祉協議会減免分 322千円
・NPO法人のっけて減免分 53千円

主な財源 府補 京都府地域包括ケア総合交付金 (10/10) 374千円
府補 未来づくり交付金 (福祉有償運送運営助成事業) 5,358千円

評価・課題等 ○高齢者や障害者の日常生活の移動手段として有効に利用され、地域福祉の向上を図ることができた。
○事業費の収支不足分を補助金として支出しているため、事業者に一層効率的な事業運営を求めていく必要がある。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	05生活管理指導事業	
細事業名	01 生活管理指導事業			決算書	P.154
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①) 執行率 (参考) 当初予算額
38千円		161千円		123千円	23.6 % 161千円

目的 生活習慣の欠如など社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等で、短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援を行い、自立した生活の助長を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

要介護状態ではないが、社会生活の適応が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等において短期間の宿泊サービスを提供することにより、生活習慣の指導や体調調整を行い、在宅生活を営めるよう支援した。

○生活管理指導事業 38千円
・利用者数 1人
・利用日数 18日
・生活管理指導事業委託料 2,080円×18日

(事業委託先)
社会福祉法人あしぎぬ福祉会 (利用者数：1人)
社会福祉法人丹後福祉会 (利用者数：0人)

主な財源

評価・課題等 社会生活への適応が困難な高齢者に対して、短期宿泊による支援を行うことで、自立した生活の助長を図ることができた。

事業所管課 健康長寿福祉部/長寿福祉課

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	07介護サービス利用負担軽減事業
細事業名	01 介護サービス利用負担軽減事業			決算書 P.154
総合計画	計画項目 22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
16,687千円	20,000千円	3,313千円	83.4%	20,000千円
目的	介護保険サービス利用負担額の軽減を行う社会福祉法人等に対し、助成金を交付し、利用者負担軽減制度の円滑な実施を支援することで、高齢者福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>低所得者で生計の維持が困難である者が、介護保険サービスを利用した時の利用者負担額について、社会福祉法人等が軽減を行った場合に、軽減を行った社会福祉法人等に対して、その一部を助成した。</p> <p>○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 16,687千円</p> <p>助成金交付法人等数 13法人等</p> <p>利用者負担軽減対象者数 669人</p>			
主な財源	府補	介護保険事業費補助金 (3/4)	12,515千円	
評価・課題等	低所得で生計が困難な要介護被保険者等が、介護サービスを利用する際の費用負担を軽減することで高齢者福祉の増進を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	08高齢者福祉施設整備助成事業																																				
細事業名	01 老人福祉施設建設資金借入金償還補助金			決算書 P.154																																				
総合計画	計画項目 22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進																																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																				
34,141千円	34,142千円	1千円	99.9%	34,142千円																																				
目的	社会福祉法人の施設整備に係る借入金の償還の一部を補助し、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図る。																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護が必要になった高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、高齢者福祉の拠点となる施設整備を行った法人に対し、施設整備に係る債務の償還金額の一部について補助を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>用途</th> <th>補助金額</th> <th>償還終了年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金</td> <td>3,892千円</td> <td>平成40年度</td> </tr> <tr> <td>おおみや苑複合施設建設資金</td> <td>11,640千円</td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームおおみや苑建設資金</td> <td>5,000千円</td> <td>平成30年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金</td> <td>3,550千円</td> <td>平成36年度</td> </tr> <tr> <td>丹後園デイサービスセンター建設資金</td> <td>1,500千円</td> <td>平成27年度</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム満寿園改築資金</td> <td>244千円</td> <td>平成40年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム満寿園建設資金</td> <td>4,382千円</td> <td>平成42年度</td> </tr> <tr> <td>久美浜デイサービスセンター建設資金</td> <td>226千円</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム海山園建設資金</td> <td>1,500千円</td> <td>平成33年度</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホームふるさと建設資金</td> <td>2,207千円</td> <td>平成49年度</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,141千円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>補助対象：社会福祉施設を整備した社会福祉法人 補助内容：整備に係る資金の元金又は利子の一部</p>				用途	補助金額	償還終了年度	特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金	3,892千円	平成40年度	おおみや苑複合施設建設資金	11,640千円	平成30年度	特別養護老人ホームおおみや苑建設資金	5,000千円	平成30年度	特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金	3,550千円	平成36年度	丹後園デイサービスセンター建設資金	1,500千円	平成27年度	養護老人ホーム満寿園改築資金	244千円	平成40年度	特別養護老人ホーム満寿園建設資金	4,382千円	平成42年度	久美浜デイサービスセンター建設資金	226千円	平成28年度	特別養護老人ホーム海山園建設資金	1,500千円	平成33年度	特別養護老人ホームふるさと建設資金	2,207千円	平成49年度	合計	34,141千円	
用途	補助金額	償還終了年度																																						
特別養護老人ホーム弥栄はごろも苑建設資金	3,892千円	平成40年度																																						
おおみや苑複合施設建設資金	11,640千円	平成30年度																																						
特別養護老人ホームおおみや苑建設資金	5,000千円	平成30年度																																						
特別養護老人ホーム第二丹後園建設資金	3,550千円	平成36年度																																						
丹後園デイサービスセンター建設資金	1,500千円	平成27年度																																						
養護老人ホーム満寿園改築資金	244千円	平成40年度																																						
特別養護老人ホーム満寿園建設資金	4,382千円	平成42年度																																						
久美浜デイサービスセンター建設資金	226千円	平成28年度																																						
特別養護老人ホーム海山園建設資金	1,500千円	平成33年度																																						
特別養護老人ホームふるさと建設資金	2,207千円	平成49年度																																						
合計	34,141千円																																							
主な財源																																								
評価・課題等	<p>○不足する介護・福祉サービス基盤の早期解消に向けた取組を行う社会福祉法人に対し、補助を行うことによって、介護・福祉サービス基盤の整備を推進することができた。</p> <p>○介護サービス事業所の施設が整ってきた状況の中、介護サービスのニーズを把握し、施設整備が行えるよう助成の在り方を検討する必要がある。</p>																																							
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課																																							

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	09網野高齢者すこやかセンター施設管理事業
細事業名	01 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業			決算書 P.154
総合計画	計画項目 22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,131千円	7,559千円	428千円	94.3%	0千円
目的	サークル活動などの会場及び入浴施設を提供し、高齢者の生きがいや健康づくりを推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>在宅の高齢者に対して入浴やレクリエーションの場を提供し、高齢者福祉の推進を図ることを目的として設置された網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。</p> <p>○施設維持管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 (消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料) 4,217千円 ・役務費 (通信運搬費、火災保険料) 117千円 ・委託料 (運営管理委託、消防設備保守点検等) 2,729千円 ・使用料及び賃借料 (清掃用具借上料、コピー機借上料) 68千円 <p>年間施設利用者数</p> <p>入浴利用者数 18,769人</p> <p>研修室等利用者数(件数) 3,906人(765件)</p>			
主な財源	使用料	網野高齢者すこやかセンター-使用料	3,834千円	
評価・課題等	<p>○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者福祉の推進に貢献している。</p> <p>○利用者の増加による収入増加を図るなど、より一層の効果的・効率的な運営に努めていく必要がある。</p> <p>○公共施設見直し計画に基づく見直しに向けた協議、検討を進める必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	10介護保険事業特別会計繰出金
細事業名	01 介護保険事業特別会計繰出金			決算書 P.154
総合計画	計画項目 22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
855,679千円	874,091千円	18,412千円	97.8%	819,738千円
目的	介護保険法で定められた費用及び事務費相当分を負担することで、介護保険事業特別会計の円滑な運営を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>介護保険事業を円滑に推進するため、一般会計から介護給付費の公費相当分(12.5%)及び事務費相当分(100%)並びに地域支援事業介護予防事業費分(12.5%)、包括的支援事業・任意事業費分(基準内19.5%、基準超過事務費100%)を繰出した。また、制度改正により低所得者保険料軽減相当分(100%)を繰出した。</p> <p>○介護給付費分 705,376千円</p> <p>○地域支援事業費</p> <p>介護予防事業費分 3,417千円</p> <p>包括的支援事業・任意事業費分 74,470千円</p> <p>(地域包括支援センター事業ほか)</p> <p>○低所得者保険料軽減繰入金 10,880千円</p> <p>○事務費分 61,536千円</p> <p>一般事務費(一般管理費、賦課徴収費、趣旨普及費) 8,808千円</p> <p>認定事務費(介護認定審査会費、認定調査等費) 52,728千円</p>			
主な財源				
評価・課題等				
事業所管課	健康長寿福祉部/長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	12福祉施設等指定管理運営事業
細事業名	01 指定管理施設運営事業			決算書 P.154
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
10,428千円		10,778千円		350千円
執行率	96.7%			(参考) 当初予算額 10,778千円
目的	指定管理者の創意工夫に基づいた高齢者拠点施設を管理運営することにより利用者に質の高い多様なサービスを提供し、もって高齢者福祉の増進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>高齢者福祉に関する施設のうち、指定管理者制度を導入している施設の運営管理を円滑に行うための経費を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指定管理委託料 10,223千円 <ul style="list-style-type: none"> ・網野社会参加交流ハウス 1,657千円 (延べ利用者数：8,503人) ・丹後老人福祉センター松風苑 7,097千円 (延べ利用者数：3,984人) ・弥栄生きがい交流センター 1,469千円 (延べ利用者数：1,549人) ○建物火災保険料 125千円 ○土地借上料（浜詰ふれあいセンター用地賃借料） 1,565㎡ 80千円 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進を図った。</p> <p>○地域の高齢者のために有効な施設であるが、市の公共施設見直し計画に基づく見直しに向け、協議・検討を進めていく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	13高齢者安心生活支援事業																																									
細事業名	01 高齢者安心生活支援事業			決算書 P.156																																									
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進																																											
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																																									
1,109千円		1,123千円		14千円																																									
執行率	98.7%			(参考) 当初予算額 1,045千円																																									
目的	市域中心部から離れ、交通の利便も悪く、医療機関からも遠方にある地域等において、保健師等による訪問指導を実施し心身の機能低下の防止と健康の保持増進を図る。																																												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○訪問対象者</p> <p>(1) 過疎、辺地等の92地区の年度末に75歳・80歳となる高齢者のうち、介護保険サービス等の利用者を除いた方</p> <p>(2) 過去の訪問から継続支援が必要となった方</p> <p>○訪問実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">訪問人数</th> <th colspan="4">訪問結果</th> </tr> <tr> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> <th>自立</th> <th>継続訪問</th> <th>他機関へ</th> <th>死亡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75歳</td> <td>116人</td> <td>118人</td> <td>111人</td> <td>2人</td> <td>3人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>80歳</td> <td>116人</td> <td>119人</td> <td>104人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>継続者</td> <td>36人</td> <td>46人</td> <td>17人</td> <td>10人</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>268人</td> <td>283人</td> <td>232人</td> <td>18人</td> <td>15人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>268人（延べ283人）を訪問した。232人（86.6%）は問題なく生活されており、継続訪問必要者は18人（6.7%）、包括支援センターなど他部署に繋がった人は15人（5.6%）であった。</p> <p>○訪問内容</p> <p>保健師が訪問し、血圧測定、問診にて健康状態の把握、健康管理指導を行い、必要に応じて、関係機関に繋ぐなどの連携を図った。</p> <p>○事業費</p> <p>臨時保健師賃金・社会保険料 1,107千円 需用費（消耗品） 2千円</p>					訪問人数		訪問結果				実人数	延べ人数	自立	継続訪問	他機関へ	死亡	75歳	116人	118人	111人	2人	3人	0人	80歳	116人	119人	104人	6人	6人	0人	継続者	36人	46人	17人	10人	6人	3人	合計	268人	283人	232人	18人	15人	3人
	訪問人数		訪問結果																																										
	実人数	延べ人数	自立	継続訪問	他機関へ	死亡																																							
75歳	116人	118人	111人	2人	3人	0人																																							
80歳	116人	119人	104人	6人	6人	0人																																							
継続者	36人	46人	17人	10人	6人	3人																																							
合計	268人	283人	232人	18人	15人	3人																																							
主な財源																																													
評価・課題等	<p>○訪問時の問診として、うつスクリーニングを取り入れ、高齢者の心の健康状態の実態把握を行うとともに、リスクが高い方については、継続的に支援を行うことができた。</p> <p>○保健師が対象地区を訪問し、対象者の健康状態の把握や健康相談・指導を行うことにより、高齢者が健康で自立した生活を送るための支援ができた。</p>																																												
事業所管課	健康長寿福祉部／健康推進課																																												

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	16高齢者福祉施設整備事業
細事業名	01 高齢者福祉施設整備事業			決算書 P.156
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
92,786千円	136,087千円	43,301千円	68.1%	0千円
目的	宇川診療所の2階部分を地域密着型特別養護老人ホームとして運営するため、2階部分の建物購入、施設整備及び開設準備経費の助成を行い、円滑な施設整備を進める。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域における適切な介護サービスの提供等、安心・安全の確保を目的とした介護基盤の緊急的な整備を行うことを目的に、宇川診療所の2階部分を地域密着型特別養護老人ホームとして運営するために建物を購入。また、整備を行う事業者に対し、京都府地域密着型サービス等整備助成事業補助金を活用して助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者福祉施設建物購入費 19,800千円 購入建物名称：宇川診療所2階（丹後町久僧417番地） 建物購入費：59,400千円×1/3=19,800千円 建物購入面積：407.12㎡（全体1,273.86㎡） ※宇川診療所鉄骨造陸屋根3階建建物の2階部分のみ購入（1階及び3階は、国民健康保険直営診療所事業特別会計で購入） ○地域密着型特別養護老人ホーム開設のための補助金 72,986千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービス等整備助成事業補助金 65,534千円 府補助金額：補助単価4,270千円×12床=51,240千円 市単独補助金額：14,294千円 ・施設開設準備経費等支援事業補助金 7,452千円 補助金額：補助単価621千円×12床=7,452千円 <p>実施法人：社会福祉法人はしうど福祉会 施設名：地域密着型介護老人福祉施設宇川いちがお園 開設日：平成28年7月25日</p>			
主な財源	府補 市債	地域密着型サービス等整備助成事業補助金 高齢者福祉施設整備事業債（合併特別債）	58,692千円 18,800千円	
評価・課題等	○本事業の活用により、事業者が円滑に施設整備を進めることができた。 ○府からの補助制度であるため、府の制度改正の動向を注視していく必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	03高齢者福祉費	50高齢者福祉一般経費
細事業名	01 高齢者福祉一般経費			決算書 P.156
総合計画	計画項目	22 生きがいをもって暮らし続けられる高齢者福祉の推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,099千円	1,152千円	53千円	95.3%	617千円
目的	高齢者福祉施設の維持管理及び事務事業を円滑に実施する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費（交付金ヒアリング等） 29千円 ○需用費 336千円 <ul style="list-style-type: none"> 事務用品等 50千円 食糧費（中国亳州市友好訪問団 歓迎夕食会等） 284千円 訪問団：7人 夕食会会場：丹後王国「食のみやこ」 訪問期間：平成27年11月6日～8日 光熱水費（網野コミュニティ広場水道料） 2千円 ○役務費 18千円 <ul style="list-style-type: none"> 手数料（網野コミュニティ広場水道廃止ほか） 16千円 保険料（火災保険料） 2千円 ○委託料 249千円 <ul style="list-style-type: none"> ゴミ撤去委託料（網野コミュニティ広場） 249千円 ○使用料及び賃借料 467千円 <ul style="list-style-type: none"> 有料道路通行料 5千円 駐車場使用料 3千円 土地借上料（グループホーム「かえで」用地賃借料） 459千円 			
主な財源				
評価・課題等	市民が活用している高齢者福祉施設の維持管理と高齢者福祉に関する事務事業について、円滑に実施することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	01子ども医療事業	
細事業名	01 子ども医療事業			決算書	P.156
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
179,023千円	180,132千円	1,109千円	99.3%	202,956千円	
目的	乳幼児、児童生徒の医療費の自己負担金の一部を助成し、子育てに係る保護者の経済的負担を軽減することにより、健康の保持と増進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	乳幼児・小学生・中学生を対象に、自己負担を1か月1医療機関ごとに200円とし、その超える額を助成した。				
	○受給者数（平成28年3月31日現在）				
	3歳未満： 1,057人				
	3歳から小学生： 4,019人				
	中学生： 1,548人 合計 6,624人				
・子ども医療給付費 174,003千円 (単位：件、千円)					
	現物給付		現金償還		合計
	件数	医療費	件数	医療費	件数 医療費
府制度	17,756	61,722	504	2,903	18,260 64,625
市制度	47,792	104,956	1,901	4,422	49,693 109,378
合計	65,548	166,678	2,405	7,325	67,953 174,003
	【府制度】出生から中学校卒業までの外来及び入院(中学生は平成27年9月以降適用) ※3歳以上中学校卒業までの外来は、自己負担額が1か月3,000円を超えた額を助成 京都子育て支援医療費受給者証の交付により現物給付、府外受診は現金償還				
	【市制度】3歳から中学校卒業までの外来及び平成27年8月以前の中学生の入院 京丹后市子ども医療費受給者証の交付により現物給付、府外受診は現金償還				
	・審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会） 4,449千円				
	・その他（通信運搬費、事務消耗品等） 571千円				
主な財源	府補	京都子育て支援医療費補助金（1/2）	50,164千円		
	諸収入	日本赤十字振興財団等災害共済給付金	1,261千円		
	諸収入	福祉医療返還金	3千円		
評価・課題等	○子育て家庭の医療費の一部を助成することにより、疾病の早期発見、適切な治療を受けることが可能となり、疾病の長期化、慢性化を予防することができた。				
	○併せて、対象乳幼児・児童・生徒の健康保持と増進を図るとともに子育て家庭の経済的負担の軽減が図ることができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	02重度心身障害老人健康管理事業	
細事業名	01 重度心身障害老人健康管理事業			決算書	P.156
総合計画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
100,326千円	100,399千円	73千円	99.9%	106,113千円	
目的	重度心身障害老人の健康の保持と福祉の向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	対象者本人及び世帯員の所得状況により、受給資格の判定を行い、福祉医療費受給者証（健康管理シール）を交付することにより、医療機関における保険診療分の一部負担金を助成し、後期高齢者医療制度加入者で、重度心身障害者の医療費に係る経済的負担を軽減した。				
	○受給者数（平成28年3月31日現在）				
	府制度：身体障害者手帳1、2級及び療育手帳A所持者 748人				
	市制度：身体障害者手帳3級所持者 333人				
	合計 1,081人				
・重度障害者医療給付費 99,606千円 (単位：件、千円)					
	現物給付		現金給付		合計
	件数	医療費	件数	医療費	件数 医療費
府制度(身障1、2級/療育A)	13,669	69,187	684	3,353	14,353 72,540
市制度(身障3級)	6,203	26,107	279	959	6,482 27,066
合計	19,872	95,294	963	4,312	20,835 99,606
	・審査支払手数料（京都府国民健康保険団体連合会） 557千円				
	・その他経費（旅費、通信運搬費、事務消耗品等） 163千円				
主な財源	府補	重度心身障害老人健康管理事業費補助金（1/2）	35,584千円		
	諸収入	福祉医療返還金	2,115千円		
評価・課題等	後期高齢者医療制度の加入者で、重度心身障害者の医療費に係る経済的負担を軽減することにより、必要な医療を受けやすくする環境をつくり、疾病の早期発見・早期治療につなげ、重症化・長期化を防ぎ、健康管理意識を向上させることができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	03重度心身障害者医療事業
細事業名	01 重度心身障害者医療事業			決算書 P.158
総合計画	計画項目 11 地域包括医療・ケア体制の充実			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
125,044千円	125,067千円	23千円	99.9%	121,767千円

目的	重度心身障害児(者)の健康の保持と福祉の向上を図る。																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>対象者本人及び世帯員の所得状況により、受給資格の判定を行い、福祉医療費受給者証を交付することにより、医療機関における保険診療分の一部負担金を助成し、重度心身障害者の医療にかかる経済的負担を軽減した。</p> <p>なお、後期高齢者医療制度に該当する障害者は、重度心身障害者老人健康管理事業へ移行することで、保険料の負担軽減も行っている。</p> <p>○受給者数(平成28年3月31日現在)</p> <p>府制度：身体障害者手帳1、2級及び療育手帳A所持者 674人 市制度：身体障害者手帳3級所持者 153人 合計 827人</p> <p>・重度障害者医療給付費 124,007千円 (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">現物給付</th> <th colspan="2">現金給付</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>医療費</th> <th>件数</th> <th>医療費</th> <th>件数</th> <th>医療費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>府制度(身障1、2級/療育A)</td> <td>10,720</td> <td>95,564</td> <td>961</td> <td>5,227</td> <td>11,681</td> <td>100,791</td> </tr> <tr> <td>市制度(身障3級)</td> <td>2,557</td> <td>22,062</td> <td>239</td> <td>1,154</td> <td>2,796</td> <td>23,216</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,277</td> <td>117,626</td> <td>1,200</td> <td>6,381</td> <td>14,477</td> <td>124,007</td> </tr> </tbody> </table> <p>・審査支払手数料(京都府国民健康保険団体連合会) 875千円</p> <p>・その他経費(旅費、通信運搬費、事務消耗品等) 162千円</p>							現物給付		現金給付		合計		件数	医療費	件数	医療費	件数	医療費	府制度(身障1、2級/療育A)	10,720	95,564	961	5,227	11,681	100,791	市制度(身障3級)	2,557	22,062	239	1,154	2,796	23,216	合計	13,277	117,626	1,200	6,381	14,477	124,007
	現物給付		現金給付		合計																																			
	件数	医療費	件数	医療費	件数	医療費																																		
府制度(身障1、2級/療育A)	10,720	95,564	961	5,227	11,681	100,791																																		
市制度(身障3級)	2,557	22,062	239	1,154	2,796	23,216																																		
合計	13,277	117,626	1,200	6,381	14,477	124,007																																		
主な財源	府補	障害者医療助成事業費補助金(1/2)				51,125千円																																		
諸収入		日本赤十字振興協会の災害共済給付金				2千円																																		
諸収入		福祉医療返還金				10千円																																		
評価・課題等	<p>重度心身障害者の医療にかかる経済的負担を軽減することにより、必要な医療を受けやすくする環境をつくり、疾病の早期発見・早期治療につなげ、重症化・長期化を防ぎ、健康管理意識を向上させることができた。</p>																																							
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課																																							

予算科目	03民生費	01社会福祉費	04福祉医療費	04ひとり親家庭医療事業
細事業名	01 ひとり親家庭医療事業			決算書 P.158
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
41,574千円	41,645千円	71千円	99.8%	43,008千円

目的	母子家庭及び父子家庭の保護者と18歳未満の子どもの健康の保持と福祉の向上を図る。																																																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>申請に基づき、所得状況により受給資格の判定を行い、福祉医療費受給者証を交付することにより、医療機関での一部負担金を助成し、母子家庭及び父子家庭の保護者と18歳未満の子どもの医療費にかかる経済的負担を軽減した。</p> <p>○受給者数(平成28年3月31日現在) (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>保護者</th> <th>児童単独</th> <th>小学生以下</th> <th>中学生以上</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母子家庭</td> <td>475</td> <td>2(0)</td> <td>446</td> <td>237</td> <td>1,160</td> </tr> <tr> <td>父子家庭</td> <td>77</td> <td>1(0)</td> <td>50</td> <td>64</td> <td>192</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「児童単独」欄の()内数値は、小学生以下の子ども数</p> <p>・ひとり親家庭医療給付費 40,743千円 [医療給付費の状況] (単位：件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">現物給付</th> <th colspan="2">現金給付</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母子家庭</td> <td>9,232</td> <td>33,257</td> <td>659</td> <td>1,983</td> <td>9,891</td> <td>35,240</td> </tr> <tr> <td>父子家庭</td> <td>1,248</td> <td>5,277</td> <td>119</td> <td>226</td> <td>1,367</td> <td>5,503</td> </tr> </tbody> </table> <p>・審査支払手数料(京都府国民健康保険団体連合会) 703千円</p> <p>・その他経費(旅費、通信運搬費、事務消耗品等) 128千円</p>						区分	保護者	児童単独	小学生以下	中学生以上	合計	母子家庭	475	2(0)	446	237	1,160	父子家庭	77	1(0)	50	64	192	区分	現物給付		現金給付		合計		件数	金額	件数	金額	件数	金額	母子家庭	9,232	33,257	659	1,983	9,891	35,240	父子家庭	1,248	5,277	119	226	1,367	5,503
区分	保護者	児童単独	小学生以下	中学生以上	合計																																														
母子家庭	475	2(0)	446	237	1,160																																														
父子家庭	77	1(0)	50	64	192																																														
区分	現物給付		現金給付		合計																																														
	件数	金額	件数	金額	件数	金額																																													
母子家庭	9,232	33,257	659	1,983	9,891	35,240																																													
父子家庭	1,248	5,277	119	226	1,367	5,503																																													
主な財源	府補	ひとり親家庭医療助成事業費補助金(1/2)				20,280千円																																													
諸収入		日本赤十字振興協会の災害共済給付金				182千円																																													
諸収入		福祉医療返還金				4千円																																													
評価・課題等	<p>医療費に係る経済的負担を軽減することにより、必要な医療を受けやすくする環境をつくり、疾病の早期発見・早期治療及び重症化・長期化の予防につなげることができた。</p>																																																		
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課																																																		

予算科目	03民生費	01社会福祉費	05老人医療給付費	01老人医療給付事業			
細事業名	01 老人医療給付事業			決算書 P.158			
総合計画	計画項目 11 地域包括医療・ケア体制の充実						
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額			
102,244千円	103,226千円	982千円	99.0%	83,111千円			
目的	医療費の軽減により、65歳以上70歳未満の高齢者の健康を保持し、老後の明るい暮らしと福祉の向上を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	65歳以上70歳未満の高齢者の本人及び世帯の所得状況により、受給資格の判定を行い、老人医療費受給者証を交付することにより医療機関での一部負担金を助成した。 また、平成26年度に70歳になった方（昭和19年4月2日～昭和20年4月1日生）の平成27年3月までの診療分について、臨時特例として助成を行った。						
	○受給者数（平成28年3月31日現在） 2,869人（2,756人） 65歳以上70歳未満の高齢者数 5,146人（4,760人） 受給率 55.8%（57.8%）（ ）内は前年度						
	・老人医療給付費 97,271千円 〔医療給付費の状況〕 (単位：件、千円、%)						
	年度	現物給付		現金給付		合計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
	H26	32,675	133,791	3,221	10,991	35,896	144,782
	H27	32,187	89,186	3,706	8,085	35,893	97,271
	対前年	△ 488	△ 44,605	485	△ 2,906	△ 3	△ 47,511
		△ 1.5	△ 33.3	15.1	△ 26.4	△ 0.0	△ 32.8
	※平成27年4月の制度改正により、全受給者の自己負担割合が1割から2割に変更となったため、給付額が減少した。						
・審査支払手数料（国保連合会・支払基金） 2,239千円 ・その他事務経費（旅費、郵送料、事務用品等） 660千円 ・府補助金返還金（平成26年度交付分） 2,074千円							
主な財源	府補	老人医療助成事業費補助金（2/3）	65,528千円				
	府補	老人医療助成事業施行事務費補助金（1/2）	1,367千円				
	府補	老人医療臨時特例助成事業費補助金（10/10）	1,089千円				
	府補	老人医療臨時特例助成事業施行事務費補助金（10/10）	40千円				
	諸収入	福祉医療返還金	10千円				
評価・課題等	○高齢者の経済的負担の軽減を図ることで安心して医療が受けられる環境を提供することで、疾病の重症化、慢性化の予防につなげることができた。						
	○臨時特例により、70歳の方の医療費負担を軽減することができた。						
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課						

予算科目	03民生費	01社会福祉費	06老人保健医療事務費	01老人保健医療事業	
細事業名	01 老人保健医療事業			決算書 P.160	
総合計画	計画項目 11 地域包括医療・ケア体制の充実				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
1,959千円	1,960千円	1千円	99.9%	0千円	
目的	老人保健制度の清算業務を円滑に進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	老人保健制度の清算を円滑に進めるための事務等経費であり、平成27年度は、支払基金・国及び府への返還金のみの支出であった。 なお、老人保健制度は平成20年3月で制度廃止されており、同年4月からは後期高齢者医療制度が移行された。				
	○償還金利子及び割引料 1,959千円 社会保険診療報酬支払基金・国・府への返還金				
	平成20年度交付額確定分		530千円		
	平成21年度交付額確定分		132千円		
	平成26年度交付額確定分		1,297千円		
	返還金合計		1,959千円		
	主な財源				
評価・課題等	老人保健制度から後期高齢者医療制度への移行に伴う清算業務を適切に実施することができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／保険事業課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	07後期高齢者医療費	01後期高齢者医療事業
細事業名	01 後期高齢者医療事業			決算書 P.160
総合計画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
754,284千円	754,284千円	0千円	100.0%	754,284千円
目的	75歳以上(65歳以上の一定の障害のある方を含む)の高齢者が加入する後期高齢者医療制度を運営する京都府後期高齢者医療広域連合への分賦金及び療養給付費負担金。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○後期高齢者医療広域連合分賦金 18,912千円 広域連合を運営するための事務経費を府内の市町村で負担するもの 負担割合：均等割(5%)、高齢者人口割(47.5%)、人口割(47.5%)</p> <p>○療養給付費負担金 735,372千円 「高齢者の医療の確保に関する法律」第98条の規定による市町村の負担金 後期高齢者医療費の負担割合は、保険料10.73%、支援金39.27%、公費50% 公費50%のうち、市町村は全体の1/12を負担する。</p> <p>【療養給付費負担金の積算】</p> $\text{平成27年度負担金総額(京都府)} \times \frac{\text{平成25年度医療給付費総額(京丹後市)}}{\text{平成25年度医療給付費総額(京都府)}}$ $24,820,303千円 \times \left[\frac{8,058,774千円 \times 1/12}{272,000,106千円 \times 1/12} \right]$ $= 735,372千円$ <p><参考> ※この負担金は、京丹後市被保険者の医療給付の実績に応じて積算。 平成26年度療養給付費負担金 727,506千円 対前年 7,866千円 伸び率 1.0%</p>			
主な財源				
評価・課題等	医療費の適正化に向けた広報、保健事業の充実等の取組を継続していく必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	07後期高齢者医療費	02後期高齢者医療事業特別会計繰出金																		
細事業名	01 後期高齢者医療事業特別会計繰出金			決算書 P.160																		
総合計画	計画項目	11 地域包括医療・ケア体制の充実																				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																		
231,772千円	231,773千円	1千円	99.9%	240,726千円																		
目的	後期高齢者医療制度の運営を円滑に行うために、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき一般会計会計から後期高齢者医療事業特別会計への繰出しを行う。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p><後期高齢者医療事業特別会計繰出金></p> <p>○事務費繰出金 7,391千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般管理費 5,372千円 被保険者証の送付、各療養費支給決定通知等に係る事務経費 徴収費 2,019千円 保険料の徴収等事務経費 <p>○保険基盤安定負担金繰出金 224,381千円 ～「高齢者の医療の確保に関する法律」第99条の規定による市町村の負担金～ 後期高齢者医療保険料の軽減分を京都府及び市で負担し、後期高齢者医療事業特別会計に繰出すもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> 京丹後市負担分 (1/4) 56,095千円 京都府負担分 (3/4) 168,286千円 <p>※低所得者に対する軽減</p> <table border="0"> <tr> <td>9割軽減</td> <td>2,317人</td> <td>75,061千円</td> </tr> <tr> <td>8.5割軽減</td> <td>3,021人</td> <td>97,990千円</td> </tr> <tr> <td>5割軽減</td> <td>967人</td> <td>22,494千円</td> </tr> <tr> <td>2割軽減</td> <td>617人</td> <td>5,705千円</td> </tr> </table> <p>※被用者保険の被扶養者であった方に対する軽減(9割軽減)</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>996人</td> <td>23,131千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,918人</td> <td>224,381千円</td> </tr> </table>				9割軽減	2,317人	75,061千円	8.5割軽減	3,021人	97,990千円	5割軽減	967人	22,494千円	2割軽減	617人	5,705千円		996人	23,131千円	合計	7,918人	224,381千円
9割軽減	2,317人	75,061千円																				
8.5割軽減	3,021人	97,990千円																				
5割軽減	967人	22,494千円																				
2割軽減	617人	5,705千円																				
	996人	23,131千円																				
合計	7,918人	224,381千円																				
主な財源	府負	後期高齢者医療保険基盤安定負担金(3/4)	168,286千円																			
評価・課題等																						
事業所管課	健康長寿福祉部/保険事業課																					

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	02放課後児童健全育成事業
細事業名	01 放課後児童健全育成事業			決算書 P.160
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
130,025千円	130,586千円	561千円	99.5%	130,204千円
目的	保護者の就労等により放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない児童に対し、安全で充実した生活の場を与えることにより、その健全な育成を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>保護者の就労等により、放課後及び長期休業期の昼間に家庭保育を受けることのできない小学校に通学する児童（平成27年度から5・6年生の児童受入拡大）を対象に、安心して生活できる場を提供することで、子どもたちの健やかな成長に努めた。</p> <p>○開設状況 年間開設日数：290日 開設時間：授業終了後～午後6時30分（長期休業期及び土曜日は午前7時30分～） 年間平均児童数：370人（前年度比27人増） 〔峰山52人・峰山長岡26人・峰山吉原27人・大宮47人・大宮口大野60人 網野南38人・網野北30人・丹後16人・弥栄30人・久美浜44人〕</p> <p>○需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 4,819千円 ○委託料（消防設備・浄化槽点検、児童送迎車運転） 8,689千円 ○放課後児童健全育成事業委託料 114,316千円 ○工事請負費（峰山：トイレ改修工事、口大野：外灯設置工事、弥栄・久美浜：施設移転に伴う改修工事） 1,116千円 ○その他の経費（火災・自動車共済等保険料・自動車重量税ほか） 1,085千円</p>			
主な財源	使用料	放課後児童健全育成事業利用料	15,562千円	
	使用料	公有財産使用料	10,411千円	
	国補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	18,089千円	
	府補	子ども・子育て支援交付金（1/3）	18,089千円	
	諸収入	久美浜有線放送電気代等負担金	484千円	
評価・課題等	<p>○施設の老朽化などに伴い移転施設を確保し、待機児童ゼロの継続ができ、保護者の子育てと就労の両立等を支援することができた。また、平成27年度から利用料を引き下げ、保護者の経済的負担の軽減を図った。</p> <p>○制度の拡充により利用者が増加するなか、引き続き「放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準」に対応していくため、小学校の空き教室の活用など施設拡充を進める予定である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	04家庭こども相談室事業																																																								
細事業名	01 家庭こども相談室事業			決算書 P.162																																																								
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進																																																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																								
281千円	360千円	79千円	78.0%	360千円																																																								
目的	家庭における児童の適正な養育及び福祉の向上を図る。																																																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>家庭における児童福祉の向上のため、支援の必要な児童や家庭（児童虐待・育児不安・養育力危惧・不登校等）について、相談援助活動・家庭訪問・同行支援等を行うとともに、要保護児童対策地域協議会の充実と連携を図り情報共有と支援・対応・協議等を行った。</p> <p>○事業実績額</p> <table border="0"> <tr> <td>報償費</td> <td>京丹後市要保護児童対策地域協議会（2回）</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>担当者会議・研修旅費等</td> <td>115千円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>事務用品等（消耗品費）</td> <td>39千円</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>手数料等（専用携帯電話使用料）</td> <td>17千円</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>京都府家庭相談員連絡協議会負担金</td> <td>10千円</td> </tr> </table> <p>○京丹後市児童相談等取扱件数（児童票を起こしているもの）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> <th>種別</th> <th>詳細</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">養護</td> <td>児童虐待</td> <td>147</td> <td rowspan="3">育成</td> <td>性格</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>131</td> <td>不登校</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>保健</td> <td></td> <td>0</td> <td>適正</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>障害</td> <td></td> <td>11</td> <td>育児・しつけ</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>非行</td> <td></td> <td>2</td> <td rowspan="2">再掲</td> <td rowspan="2">(いじめ)</td> <td rowspan="2">0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">計</td> <td>333</td> </tr> </tbody> </table>				報償費	京丹後市要保護児童対策地域協議会（2回）	100千円	旅費	担当者会議・研修旅費等	115千円	需用費	事務用品等（消耗品費）	39千円	役務費	手数料等（専用携帯電話使用料）	17千円	負担金	京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円	種別	詳細	件数	種別	詳細	件数	養護	児童虐待	147	育成	性格	1	その他	131	不登校	28	保健		0	適正	3	障害		11	育児・しつけ	10	非行		2	再掲	(いじめ)	0	その他		0	計					333
報償費	京丹後市要保護児童対策地域協議会（2回）	100千円																																																										
旅費	担当者会議・研修旅費等	115千円																																																										
需用費	事務用品等（消耗品費）	39千円																																																										
役務費	手数料等（専用携帯電話使用料）	17千円																																																										
負担金	京都府家庭相談員連絡協議会負担金	10千円																																																										
種別	詳細	件数	種別	詳細	件数																																																							
養護	児童虐待	147	育成	性格	1																																																							
	その他	131		不登校	28																																																							
保健		0		適正	3																																																							
障害		11	育児・しつけ	10																																																								
非行		2	再掲	(いじめ)	0																																																							
その他		0																																																										
計					333																																																							
主な財源																																																												
評価・課題等	<p>○面談・家庭訪問・電話相談の実施、ケース検討会議開催、要保護児童対策地域協議会の取組等により、さまざまな課題のある家庭への支援や対応を行うことができた。</p> <p>○適切で迅速な支援につなげるため、担当者の研鑽を重ねるとともに、関係機関との連携を深めていくことが大切である。</p>																																																											
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課																																																											

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	05ファミリー・センター事業
細事業名	01 ファミリー・センター事業			決算書 P.162
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
66千円	78千円	12千円	84.6%	78千円
目的	子どもの預かり等の援助を受ける方、援助を行う方からなる会員同士の援助活動を調整し、概ね生後2か月～小学校3年生までの子どもを持つ家庭の子育て支援を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>登録から5年が経過するまかせて会員を対象に、子どもの世話や発達に関する知識の再確認のための登録更新講習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 実施事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規登録会員講習会及び登録更新講習会 参加者 1人 ○ 会員数(28年3月末) <ul style="list-style-type: none"> ・ おねがい会員 77人 ・ まかせて会員 22人 ・ 両方会員 1人 ※ 活動延件数 21件 ※ 利用者実人数 依頼(おねがい)会員:5人 援助(まかせて)会員:4人 ○ 事業費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅費(普通旅費) 1千円 ・ 需用費(消耗品費) 9千円 ・ 役務費(ファミリー・サポート・センター補償保険料) 56千円 			
主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	22千円	
	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	22千円	
評価・課題等	<p>○ 援助会員の講習会で、受講者に子どもの世話や看病の仕方を再確認する機会を提供し、援助技能の向上を図った。</p> <p>○ ここ数年活動延件数が大幅に落ち込んでいるが、今年度は昨年度の倍以上となり、少し増加した。ただし、利用者実人数は昨年度と変わっておらず、限られた会員のみが活動している状況である。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	06母子家庭等対策総合支援事業
細事業名	02 高等技能訓練促進費事業			決算書 P.162
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,073千円	3,073千円	0千円	100.0%	1,250千円
目的	就職に有利な資格を取得するひとり親家庭の母や父に対して、受講期間における生活の経済的負担の軽減を図り、就業によるひとり親家庭の経済的自立の促進を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高等職業訓練促進費 3,048千円 <ul style="list-style-type: none"> 【支給額】 月額 100千円 (市町村民税非課税世帯) 月額 88千円 (市町村民税課税世帯) 【支給期間】 上限2年 ・ 対象者: 3人 (看護師、准看護師、保育士) ○ 高等職業訓練修了支援金 25千円 <ul style="list-style-type: none"> 【支給額】 50千円 (市町村民税非課税世帯) 25千円 (市町村民税課税世帯) 【支給期間】 養成訓練修了時 ・ 対象者: 1人 (看護師) 			
主な財源	国補	高等職業訓練促進費補助金(3/4)	2,347千円	
評価・課題等	ひとり親家庭に対し、高等職業訓練促進給付金を支給し、その家庭の受講期間の生活の経済的負担を軽減することで、資格取得に向けた受講を継続することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	07子ども未来まちづくり審議会事業
細事業名	01 子ども未来まちづくり審議会事業			決算書 P.162
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
116千円	186千円	70千円	62.3%	187千円
目的	子ども・子育て支援事業計画、放課後子ども総合プラン行動計画に関する審議及び次世代育成支援対策行動計画（後期計画）及び保育所再編等推進計画の進行管理を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成27年3月に策定した子ども・子育て支援事業計画の別冊「放課後子ども総合プラン行動計画編」策定等について、審議会を開催した。</p> <p>○報酬（審議会委員） 委員：10人 3回開催 100千円 ○旅費（費用弁償） 16千円</p> <p>審議会開催状況 平成27年6月29日 ・次世代育成支援対策行動計画の進捗状況について ・放課後子ども総合プランについて</p> <p>平成27年11月24日 ・子ども未来まちづくり審議会について ・子ども子育て支援事業について 幼児期の学校教育・保育の「量の見込み」と確保方策 地域子ども・子育て支援事業「量の見込み」と確保方策 ・放課後子ども総合プランについて</p> <p>平成28年1月18日 ・京丹後市放課後子ども総合プラン行動計画編について ・保育料について</p>			
主な財源				
評価・課題等	○「京丹後市子ども・子育て支援事業計画」で子どもが安心・安全に遊び、暮らせるまちづくり「放課後子ども総合プラン」に基づく取組を進めるにあたり「放課後子ども総合プラン行動計画編」を策定した。 ○次世代育成支援対策行動計画の進行管理のほか、子どもや子育てに関わる事項の調査や審議を行い、市民の意見を聴取した。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	09子ども・子育て支援事業
細事業名	01 子ども・子育て支援事業			決算書 P.162
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
92千円	93千円	1千円	98.9%	0千円
目的	国の「放課後子ども総合プラン」に基づき、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的実施等について推進する「放課後子ども総合プラン行動計画」を策定する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成27年11月「京丹後市放課後子ども総合プラン運営委員会」を設置し、子どもが安心・安全に遊び、暮らせるまちづくりを推進するため、「放課後子ども総合プラン行動計画」を策定した。</p> <p>○放課後子ども総合プラン運営委員会委員謝金 60千円 ○費用弁償 7千円 委員：12人、3回開催 運営委員会開催状況 平成27年11月30日 ・放課後子ども総合プランについて ・京丹後市の状況 平成27年12月21日 ・放課後子ども総合プラン行動計画（案）について ・放課後子ども総合プランの基本方針について 平成28年1月28日 ・放課後子ども総合プラン行動計画（案）について ・放課後子ども教室の実施について</p> <p>○印刷製本費 25千円 放課後子ども総合プラン市町村行動計画 300冊</p> <p>【放課後子ども総合プラン行動計画とは】 全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的又は連携した実施を推進するために、市町村が策定する行動計画。 計画期間：平成27年度から平成31年度</p>			
主な財源				
評価・課題等	放課後子ども総合プラン運営委員会等での審議を基に、放課後子ども総合プラン行動計画を策定することができた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	01児童福祉総務費	50児童福祉総務一般経費
細事業名	01 児童福祉総務一般経費			決算書 P.164
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
693千円	871千円	178千円	79.5%	745千円
目的	児童福祉業務を円滑に遂行するために必要な一般経費			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p><支出内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 8千円 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども放課後対策事業等の先進地視察旅費 日程：5月20日、行先：大阪府茨木市、人数：10人 ・利用者支援事業に関する先進地視察旅費 日程：11月12日、行先：三重県名張市、人数：7人 ○需用費 555千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車の燃料代及びタイヤ購入、修繕等費用 ○役務費 108千円 <ul style="list-style-type: none"> ・公用車の車検代、保険料等 ○使用料及び賃借料 19千円 <ul style="list-style-type: none"> ・出張時のETC（高速道路）利用料等 ○公課費 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・車検時の重量税 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○支出内容を精査しながら、児童福祉業務を適切に実施することができた。</p> <p>○先進地視察により、放課後子ども総合プラン行動計画の立案に寄与した。</p>			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	02児童措置費	01児童手当支給事業																										
細事業名	01 児童手当支給事業			決算書 P.164																										
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進																												
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																										
816,277千円	816,374千円	97千円	99.9%	852,909千円																										
目的	児童手当を支給することで、次世代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で支援する。																													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○児童手当給付費 814,685千円</p> <p><平成27年2月～平成28年1月支給内訳></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>支給月額</th> <th>延べ対象児童数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">0～3歳未満</td> <td>被用者</td> <td>8,155人</td> <td>122,325千円</td> </tr> <tr> <td>非被用者</td> <td>2,773人</td> <td>41,595千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3歳以上～ 小学校修了前</td> <td>第1・2子</td> <td>35,583人</td> <td>355,830千円</td> </tr> <tr> <td>第3子以降</td> <td>7,290人</td> <td>109,350千円</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>10,000円</td> <td>18,079人</td> <td>180,790千円</td> </tr> <tr> <td>特例給付</td> <td>5,000円</td> <td>959人</td> <td>4,795千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○事務経費内訳 1,592千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 消耗品費 93千円 印刷製本費 111千円 郵送料 1,098千円 委託料（事務補助業務人材派遣委託料） 290千円 				区分	支給月額	延べ対象児童数	支給額	0～3歳未満	被用者	8,155人	122,325千円	非被用者	2,773人	41,595千円	3歳以上～ 小学校修了前	第1・2子	35,583人	355,830千円	第3子以降	7,290人	109,350千円	中学生	10,000円	18,079人	180,790千円	特例給付	5,000円	959人	4,795千円
区分	支給月額	延べ対象児童数	支給額																											
0～3歳未満	被用者	8,155人	122,325千円																											
	非被用者	2,773人	41,595千円																											
3歳以上～ 小学校修了前	第1・2子	35,583人	355,830千円																											
	第3子以降	7,290人	109,350千円																											
中学生	10,000円	18,079人	180,790千円																											
特例給付	5,000円	959人	4,795千円																											
主な財源	国負	児童手当負担金	562,092千円																											
	府負	児童手当負担金	126,257千円																											
評価・課題等	<p>児童手当法に基づく事務を適正に行い、児童手当を支給することで、社会全体で支援することができた。</p>																													
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																													

予算科目	03民生費	02児童福祉費	02児童措置費	02児童扶養手当等支給事業
細事業名	01 児童扶養手当等支給事業			決算書 P.164
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
211,711千円	211,713千円	2千円	99.9%	225,552千円
目的	離婚等により父親又は母親のいない家庭の児童、身体や精神に中程度以上の障害のある児童が健やかに成長するよう、その家庭の生活の安定と自立を促進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○児童扶養手当 支給金額：全部支給42,000円、一部支給9,910円～41,990円に、児童2人以上を養育している場合は、2人目は5,000円、3人目以降は1人につき3,000円を加算 ※手当額はH27.4.1現在			
		平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
	ひとり親家庭数	679世帯	665世帯	655世帯
	児童扶養手当対象者	549人	548人	537人
	うち新規認定者	62人	71人	58人
	児童扶養手当受給者	464人	472人	447人
	※ひとり親家庭の内訳（母子家庭546世帯、父子家庭109世帯）			
	※平成28年3月末児童扶養手当対象者の内訳 全部支給：204人 一部支給：243人 全部停止：90人 合計：537人			
	○特別児童扶養手当（府への申請書等の進達事務） 支給金額：1級51,100円、2級34,030円 ※手当額はH27.4.1現在 対象者数：106人（うち平成27年度新規認定者：15人）			
		児童扶養手当給付費	210,493千円	
	児童扶養手当管理システム保守委託料	308千円		
	過年度児童扶養手当給付費国庫負担金返還金	411千円		
	その他事務費（旅費、消耗品費、通信運搬費）	499千円		
主な財源	国負	児童扶養手当給付費国庫負担金	70,851千円	
	国委	特別児童扶養手当事務委託金	201千円	
評価・課題等	○離婚等によりひとり親となった家庭に対し、手当を支給することにより、その家庭の生活の安定と自立促進を支援することができた。 ○支給可能な世帯の申請漏れがないよう、今後も関係課と連携を密にするとともに、制度の周知徹底を行っていく必要がある。			
	事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課		

予算科目	03民生費	02児童福祉費	02児童措置費	03児童入所施設措置事業		
細事業名	01 児童入所施設措置事業			決算書 P.164		
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
561千円	577千円	16千円	97.2%	1,021千円		
目的	母等と監護される児童が福祉に欠ける場合には、母子生活支援施設に母子を保護し、経済的理由で入院助産が困難な場合は助産施設に措置することで、福祉の向上を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○母子生活支援施設入所措置 平成27年度の入所者数：0人					
	○助産施設入所措置					
	・助産施設入所措置費（2件）			256千円		
	（うち1件は府立施設への入所のため、負担金なし）					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	利用件数	1件	1件	2件	1件	2件
	○その他				305千円	
	・普通旅費（研修：京都市、福知山市）			24千円		
	・過年度国庫支出金返還金			281千円		
	主な財源	国負	児童入所施設措置費等負担金（1/2）	127千円		
府負		児童入所施設措置費等負担金（1/4）	66千円			
評価・課題等	入院助産を受けることが経済的に困難な妊産婦に対して、指定助産施設の提供を行うことで、安心して出産を行うための支援ができた。					
	事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課				

予算科目	03民生費	02児童福祉費	02児童措置費	04子育て世帯臨時特例給付金給付事業
細事業名	01 子育て世帯臨時特例給付金給付事業			決算書 P.164
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
23,594千円	23,638千円	44千円	99.8%	29,627千円
目的	消費税率の引上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	○子育て世帯臨時特例給付金事業費 20,295千円 受付期間 平成27年6月3日～平成27年12月3日 支給額 対象児童1人につき3,000円 支給決定人数 6,765人			
	○子育て世帯臨時特例給付金事務費 3,215千円 時間外勤務手当 223千円 普通旅費 2千円 消耗品費(申請書用紙、トナー代) 72千円 印刷製本費(封筒、チラシ) 204千円 通信運搬費(郵送料) 414千円 口座振込手数料 425千円 委託料(事務補助業務人材派遣委託料) 1,258千円 負担金(京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金) 617千円			
	○子育て世帯臨時特例給付金過年度国庫支出金返還金 84千円			
主な財源	国補	子育て世帯臨時特例給付金給付事業費補助金(10/10)	20,295千円	
	国補	子育て世帯臨時特例給付金給付事務費補助金(10/10)	3,215千円	
評価・課題等	給付金制度に基づく事務を適正に行い、子育て世帯に対し給付金を支給することで、消費税率の引上げに伴う子育て世帯への影響を緩和することができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	02保育所管理運営事業																																								
細事業名	01 保育所管理運営事業			決算書 P.166																																								
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進																																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																								
159,617千円	168,340千円	8,723千円	94.8%	173,839千円																																								
目的	保護者の就労等で、家庭での保育に欠ける児童を保護者に代わって保育するとともに、入所する児童にとってふさわしい生活の場となるよう環境整備を図る。																																											
主要な事務・事業及び成果の概要	14保育所において、保護者の就労等により保育に欠ける児童を保育するため、保育材料費、賄材料費や施設の維持管理経費など、必要な経費を支出した。																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>保育所数</th> <th>3歳未満児童数</th> <th>3歳以上児童数</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>2</td> <td>60</td> <td>104</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>2</td> <td>124</td> <td>196</td> <td>320</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>4</td> <td>82</td> <td>157</td> <td>239</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>2</td> <td>43</td> <td>85</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>1</td> <td>36</td> <td>81</td> <td>117</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>3</td> <td>93</td> <td>186</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14</td> <td>438</td> <td>809</td> <td>1,247</td> </tr> </tbody> </table>					保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計	峰山町	2	60	104	164	大宮町	2	124	196	320	網野町	4	82	157	239	丹後町	2	43	85	128	弥栄町	1	36	81	117	久美浜町	3	93	186	279	計	14	438	809	1,247
		保育所数	3歳未満児童数	3歳以上児童数	合計																																							
	峰山町	2	60	104	164																																							
大宮町	2	124	196	320																																								
網野町	4	82	157	239																																								
丹後町	2	43	85	128																																								
弥栄町	1	36	81	117																																								
久美浜町	3	93	186	279																																								
計	14	438	809	1,247																																								
(H28.3.1現在)																																												
<p><支出内訳></p> <p>1.保育所の運営に関する経費 103,361千円 ○保育材料費ほか消耗品費 15,637千円 ○給食賄材料費 86,433千円 ○施設備品、保育備品 510千円 ○コピー機等借上料 525千円 ○砂場の砂、園庭の土 256千円</p> <p>2.施設の維持管理に関する経費 56,256千円 ○燃料費、光熱水費 43,517千円 ○通信運搬費 1,250千円 ○施設・備品等一般修繕 3,927千円 ○清掃用具借上料 395千円 ○手数料 335千円 ○浄化槽維持管理 1,780千円 ○施設警備委託料 673千円 ○その他委託料 2,727千円 ○施設改修等工事 1,652千円</p>																																												
主な財源	負担金	保育料現年分	22,065千円																																									
	府補	多子世帯保育料減免市町村交付金	2,910千円																																									
	諸収入	保育所職員給食費	12,519千円																																									
	諸収入	幼稚園給食費	8,078千円																																									
諸収入	広域入所受託保育料、延長保育間食負担金	4,708千円																																										
評価・課題等	○家庭での保育に欠ける児童を待機させることなく保育することができ、保育所として円滑な運営を実施することができた。 ○施設の老朽化が進む中、修繕等の維持管理経費が増加することが予測されるため、計画的に修繕を行っていく必要がある。																																											
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課																																											

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業
細事業名	01 保育業務委託事業			決算書 P.168
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
283,110千円	283,112千円	2千円	99.9%	237,705千円
目的	保護者の就労等により、保育を必要とする児童の健全な心身の発達を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>民間認可保育所の「ゆうかり乳児保育所」に2か月以上児から2歳児まで、「ゆうかり子ども園」「あみの夢保育園」に6か月以上児から5歳児までの保育を委託し、産休明け・育休明けや、保育時間の延長や休日保育が必要な保護者の保育ニーズに対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○乳児保育委託料 67,017千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうかり乳児保育所 定員30人 平成28年3月末入所児童数：37人 ○保育所運営委託料 216,093千円 <ul style="list-style-type: none"> ・ゆうかり子ども園 125,036千円 定員150人 平成28年3月末入所児童数：158人 ・あみの夢保育園 91,057千円 定員90人 平成28年3月末入所児童数：99人 			
主な財源	負担金	保育料現年度分	47,515千円	
	国負	子どものための教育・保育給付費負担金(1/2)	99,536千円	
	府負	子どものための教育・保育給付費負担金(1/4)	49,768千円	
	府補	多子世帯保育料減免市町村交付金	7,589千円	
評価・課題等	保育時間の延長や休日保育など保護者の保育ニーズに対応した保育を実施し、保護者の子育てと仕事の両立支援につなげることができた。			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	03保育所委託事業
細事業名	02 保育所保育事業等補助金			決算書 P.168
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
19,132千円	20,284千円	1,152千円	94.3%	34,305千円
目的	私立保育所が行う事業の円滑な運営ができるよう体制作り等に対して補助金を交付し、特別保育事業を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆうかり乳児保育所 3,010千円 <ul style="list-style-type: none"> 延長保育事業(人件費、光熱水費、おにぎり代他) 300千円 民間社会福祉施設サービス向上事業 510千円 (畳及び床張替、事業備品(ロッカー及び椅子)の購入) 障害児保育事業(加配職員の人件費) 2,200千円 ・ゆうかり子ども園 10,026千円 <ul style="list-style-type: none"> 延長保育事業(人件費、光熱水費、おにぎり代他) 2,637千円 民間社会福祉施設サービス向上事業 2,550千円 (遊具塗装、事業備品(冷蔵庫・幼児机他)の購入) 一時預かり事業(配置保育士の人件費) 211千円 障害児保育事業(加配職員の人件費) 4,628千円 ・あみの夢保育園 6,096千円 <ul style="list-style-type: none"> 延長保育事業(人件費、光熱水費、おにぎり代他) 2,166千円 民間社会福祉施設サービス向上事業 1,530千円 (事業備品(避難車・ガス給湯器他)の購入、職員健診) 障害児保育事業(加配職員の人件費) 2,400千円 			
主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(延長保育事業・一時預かり事業)(1/3)	3,454千円	
	府補	子ども・子育て支援交付金(延長保育事業・一時預かり事業)(1/3)	3,454千円	
	府補	民間社会福祉施設サービス向上補助金(1/2)	2,183千円	
評価・課題等	○補助金交付により延長保育・休日保育などを推進し、子育て支援と仕事の両立支援を図った。 ○施設修繕及び加配職員の配置への支援を行うことで、保育の受入体制を整え、多様な保育ニーズに対応した。			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	04子育て支援わが事業
細事業名	01 子育て支援わが事業			決算書 P.168
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
14,978千円	15,443千円	465千円	96.9%	15,481千円

目的 子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場の提供等の育児支援活動を通して、地域に密着した子育ての環境を整える。

子どもを持つ家庭のため、保護者の育児相談・交流の場及び子ども同士のふれあいの場として、8か所の支援センターを設置することで、地域に密着した子育て支援を推進した。また、家庭でも親子でできる運動を通して、親子の愛情関係、信頼関係を深めるため、親子リフレッシュ体操教室を実施した。
また、10月23日に開催した子育て講演会「おはなし広場」は、保護者72人、子ども84人、計156人の参加があった。

○ 支援センター利用数

地域子育て支援センター	延べ利用人数	
	児童	保護者
峰山	2,620人	2,243人
大宮北	1,741人	1,500人
大宮南	1,838人	1,493人
網野	2,474人	2,074人
丹後	1,467人	1,174人
弥栄	1,389人	1,134人
かぶと山	1,734人	1,151人
こうりゅう	1,472人	1,157人
合計	14,735人	11,926人

○ 親子リフレッシュ体操教室

クラス	延べ利用人数	
	児童	保護者
ベビー	164人	162人
リトルキッズ	101人	97人
キッズ	124人	95人
合計	389人	354人

※ 年間各10回実施

○ なかよし広場

	延べ利用人数	
	児童	保護者
合計	383人	345人

※ 毎月1回(8月のみ2回)

- 臨時職員賃金及び共済費(19人) 13,648千円
- 子育て講座・親子体操教室講師謝礼 203千円
- 溝谷集会施設修繕料 125千円
- 通信運搬費・手数料 251千円
- 印刷製本費 236千円
- その他経費(消耗品費等) 515千円

主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	4,515千円
	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	4,515千円

評価・課題等 ○子育て家庭のため、子育て相談や遊びの場を提供することにより子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進が図られた。
○親子リフレッシュ体操教室を実施し、家庭でも親子でできる運動を通して、親子の愛情関係、信頼関係の向上を図ることができた。
○低年齢児の保育所入所により、なかよし広場の利用者が減少傾向にあるが、保健師による発達相談等の場として子育て支援に寄与した。

事業所管課 教育委員会事務局/子ども未来課

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	05子育て短期支援事業
細事業名	01 子育て短期支援事業			決算書 P.170
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
649千円	662千円	13千円	98.0%	1,363千円

目的 保護者が就労や疾病等により、家庭での養育が一時的に困難となった場合に、該当児童を乳児院等で一定期間養育を行い、児童及びその家庭の福祉の向上を図る。

保護者が疾病その他の理由において児童を養育することが一時的に困難となった児童(小学校第4学年までの者)に対し、峰山乳児院等で保護者に代わって養育する事業を社会福祉法人みねやま福祉会に委託し実施した。
(延べ利用児童数164人)

○子育て短期支援事業子育て短期支援事業委託料 649千円

(延べ利用児童数等)

0、1歳児	生活保護世帯(1人)	11千円
	母子父子・非課税世帯(4人)	38千円
	その他の世帯(9人)	48千円
2歳児以上	生活保護世帯(24人)	132千円
	母子父子・非課税世帯(42人)	189千円
	その他の世帯(84人)	231千円

主な財源	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	216千円
	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	216千円

評価・課題等 保護者の冠婚葬祭・就労・就学・看護・学校等行事への参加による一時的な利用があり、養育を必要とする児童及びその家庭の福利向上につなげることができた。

事業所管課 教育委員会事務局/子ども未来課

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	08峰山統合保育所整備事業
細事業名	01 峰山統合保育所整備事業			決算書 P.170
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
38,441千円	38,445千円	4千円	99.9%	40,706千円
目的	峰山仮設保育所の解体、敷地内の遊具の移設及び整地、峰山保育所バス車庫の新築工事等を行い跡地等の返還及び有効利用を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p><支出内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ○役務費 <ul style="list-style-type: none"> 建築確認申請及び完了検査手数料 59千円 水道工事検査及び開栓手数料 2千円 火災保険料 1千円 ○委託料 <ul style="list-style-type: none"> 設計・監理業務委託料 2,559千円 ○使用料及び賃借料 <ul style="list-style-type: none"> 仮設保育所借上料（平成28年3月31日まで） 5,052千円 ○工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> 峰山仮設保育所解体に伴う付帯工事 393千円 峰山仮設保育所遊具移設工事 2,684千円 峰山仮設保育所跡地整備工事 4,500千円 峰山保育所バス車庫新築工事 23,083千円 ○負担金、補助及び交付金 <ul style="list-style-type: none"> 水道加入分担金 108千円 			
主な財源	府補 市債	未来づくり交付金（峰山統合保育所整備事業） 児童福祉施設整備事業債（合併特例債）	5,861千円 23,900千円	
評価・課題等	吉原グラウンドを峰山仮設保育所として利用していたが、統合保育所完成に伴いグラウンドを原状復帰のうえ返還し、一部を峰山保育所送迎車両車庫として整備し、車両保管場所が確保できた。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	12病後児保育事業
細事業名	01 病後児保育事業			決算書 P.170
総合計画	計画項目	28 子育て支援の総合的な推進		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
4,787千円	4,787千円	0千円	100.0%	5,014千円
目的	病気の回復期にあり、集団保育、登校が困難な児童を一時的に保育することにより、保護者の子育てと就労の両立等を支援するとともに、児童の福祉の向上を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○病後児保育事業委託料 787千円 人件費（11月～3月分） ○開設準備補助金 4,000千円 改修工事費等、開設準備経費の一部を補助金として交付 <p>【病後児保育事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施時期：平成27年11月～ 実施場所：ゆかり子ども園施設内 実施体制：看護師1人、保育士1人 利用定員：1日6人以内 利用時間：午前8時～午後6時 利用料：2千円/日（減額措置あり） 実施形態：みねやま福祉会へ事業委託 広報：おしらせ版、保育所・幼稚園・小学校を通じ保護者へ通知、市立病院にチラシ掲示など 利用人数：なし 			
主な財源	国補 府負	子ども・子育て支援交付金（1/3） 子ども・子育て支援交付金（1/3）	1,595千円 1,595千円	
評価・課題等	○平成27年11月から事業を開始し、保護者の子育てと仕事の両立を支援する体制を整えた。 ○平成27年度は利用実績がないが（平成28年6月時点では6件申請、5件利用）、必要なる方の利用につながるよう、制度の周知が必要である。			
事業所管課	教育委員会事務局／子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	13日用品費等援助事業
細事業名	01 日用品費等援助事業			決算書 P.170
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
101千円	101千円	0千円	100.0%	72千円
目的	低所得世帯を対象に日用品、文房具等の購入に要する費用、食事に要する費用、行事への参加に要する費用等の実費徴収額について、費用の一部を助成する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○扶助費 101千円</p> <p>・対象児童数 幼稚園 2人 保育所 2人 合計 4人</p> <p>・事業費 給食費(幼稚園) 3,600円 × 12か月 × 2人 = 86,400円 教材費・行事費等 幼稚園 13,338円 保育所 760円 計 100,498円</p>			
主な財源	国負	子ども・子育て支援交付金(1/3)	33千円	
	府負	子ども・子育て支援交付金(1/3)	33千円	
評価・課題等	低所得世帯の給食費、教材費、行事への参加に要する費用等の一部を助成することで、対象家庭の経済的負担を軽減することに寄与した。			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

予算科目	03民生費	02児童福祉費	03保育所費	50保育所一般経費
細事業名	01 保育所一般経費			決算書 P.170
総合計画	計画項目 28 子育て支援の総合的な推進			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
553,856千円	561,267千円	7,411千円	98.6%	616,141千円
目的	保育所入所児童の健康管理、臨時職員の雇用、職員等の研修、児童の送迎バス運行、給食調理業務等により保育所の円滑な運営を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>保育を円滑に実施するため、臨時保育士の任用や児童の健康管理経費、給食調理業務、広域入所委託費、職員の資質向上のための研修経費を支出した。</p> <p><支出内訳></p> <p>1.保育所運営に関する経費</p> <p>○臨時職員(保育士、調理員等)賃金・共済(社保、労災、雇保) 414,015千円 ○健康診断実施手数料(非常勤職員) 159千円 ○給食調理業務委託料(6保育所) 56,859千円 ○児童送迎運行、遠足等バス借上費用等 51,886千円 ○保育所用地借上料及び建物火災保険料 1,888千円 ○広域入所委託料(他市町村への入所委託費) ※実績 4人 5,766千円 ○NewTRY-X/Ⅱ子ども・子育て支援制度対応機能使用に係る負担金 589千円 ○その他(日本スポーツ振興センター・府保育協会負担金ほか) 7,832千円</p> <p>2.児童の健康管理に関する経費</p> <p>○嘱託医報酬(内科9人、歯科12人)、費用弁償等 6,731千円 ○入所児童の尿・ぎょう虫検査手数料等 1,070千円</p> <p>3.職員の研修に関する経費</p> <p>○講師謝礼、研修等参加旅費、負担金等 255千円</p> <p>4.一時預かり事業関係経費</p> <p>○臨時等職員賃金(保育士) 6,806千円 延べ利用児童数 1,094人 (峰山保育所150人、大宮南保育所285人、網野みなみ保育所102人、丹後保育所188人、弥栄保育所68人、かぶと山保育所301人)</p>			
主な財源	負担金	保育料現年度分	84,924千円	
	国補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	1,684千円	
	府補	子ども・子育て支援交付金(1/3)	1,684千円	
	諸収入	一時預かり事業利用料、延長保育料	2,397千円	
	諸収入	日本スポーツ振興センター・保護者負担金、保育所給食調理機器類貸付料	3,652千円	
評価・課題等	保育所運営を実施するために、施設管理、職員確保、児童・職員の健康管理などの業務を実施することで、円滑な保育所運営を行うことができた。			
事業所管課	教育委員会事務局/子ども未来課			

予算科目	03民生費	03生活保護費	01生活保護総務費	02生活保護運営管理事業																																																						
細事業名	01 生活保護運営管理事業			決算書 P.174																																																						
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進																																																									
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																						
14,677千円	15,292千円	615千円	95.9%	12,098千円																																																						
目的	生活保護の実施機関として、生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適正に運営する。																																																									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生活保護受給者の自立支援を目的に、よりきめ細かな相談を行うための面接相談員の設置、自立支援プログラムに基づく就労支援や健康管理支援を行ったほか、手持金の少ない生活保護申請者に対し、一時的な生活資金の貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 就労支援員報酬(1人 週4日28時間勤務) 1,998千円 健康管理支援員報酬(1人 週4日28時間勤務) 1,998千円 面接相談員報酬(1人 週4日28時間勤務) 1,998千円 嘱託職員任用に伴う共済費(社会保険料・雇用保険料) 760千円 生活保護申請者への一時支援資金貸付金(16件) 470千円 生活保護システム基準改定対応等改修経費 2,419千円 生活保護システム保守経費 594千円 医療扶助、介護扶助適正実施経費 509千円 (レセプト点検委託料、レセプト管理システム保守委託料、通信運搬費等) 負担金、補助金の交付額確定に伴う過年度国庫支出金返還金 1,655千円 その他の経費(生活保護嘱託医報酬、旅費、需用費ほか) 2,276千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>被保護世帯数</th> <th>被保護人員</th> <th>保護率</th> <th>面接相談件数</th> <th>申請件数</th> <th>開始件数</th> <th>却下・取下げ</th> <th>廃止件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>371世帯</td> <td>561人</td> <td>9.7%</td> <td>182件</td> <td>64件</td> <td>50件</td> <td>14件</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>394世帯</td> <td>588人</td> <td>10.3%</td> <td>224件</td> <td>69件</td> <td>55件</td> <td>14件</td> <td>36件</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>390世帯</td> <td>579人</td> <td>10.3%</td> <td>164件</td> <td>56件</td> <td>44件</td> <td>12件</td> <td>43件</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>398世帯</td> <td>601人</td> <td>10.8%</td> <td>159件</td> <td>57件</td> <td>48件</td> <td>9件</td> <td>41件</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>395世帯</td> <td>576人</td> <td>10.5%</td> <td>151件</td> <td>53件</td> <td>41件</td> <td>12件</td> <td>48件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※保護率=被保護人員/京丹後市人口、単位は1/1,000の%で表示(各年度3月末現在)</p>					被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下・取下げ	廃止件数	H23	371世帯	561人	9.7%	182件	64件	50件	14件	29件	H24	394世帯	588人	10.3%	224件	69件	55件	14件	36件	H25	390世帯	579人	10.3%	164件	56件	44件	12件	43件	H26	398世帯	601人	10.8%	159件	57件	48件	9件	41件	H27	395世帯	576人	10.5%	151件	53件	41件	12件	48件
	被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下・取下げ	廃止件数																																																		
H23	371世帯	561人	9.7%	182件	64件	50件	14件	29件																																																		
H24	394世帯	588人	10.3%	224件	69件	55件	14件	36件																																																		
H25	390世帯	579人	10.3%	164件	56件	44件	12件	43件																																																		
H26	398世帯	601人	10.8%	159件	57件	48件	9件	41件																																																		
H27	395世帯	576人	10.5%	151件	53件	41件	12件	48件																																																		
主な財源	国補	生活保護費補助金(3/4・1/2)	4,090千円																																																							
	国補	社会保障・税番号制度以済整備費補助金(2/3)	561千円																																																							
	国負	生活困窮者自立支援負担金(3/4)	1,783千円																																																							
	諸収入	一時支援資金貸付金元金収入	470千円																																																							
評価・課題等	<p>○生活保護法に基づく事務を適正に行い、円滑な生活保護支給事業の運営ができた。 ○今後も、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立助長を進めるとともに、レセプト管理システムの活用等により、支給額の大きい医療扶助費の適正化に努める必要がある。</p>																																																									
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																																																									

予算科目	03民生費	03生活保護費	02生活保護扶助費	01生活保護費支給事業																																																																																																																																																																				
細事業名	01 生活保護費支給事業			決算書 P.176																																																																																																																																																																				
総合計画	計画項目 20 共に生き、支え合い、助け合う地域福祉の推進																																																																																																																																																																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																																																																																																																																																																				
746,787千円	747,053千円	266千円	99.9%	791,325千円																																																																																																																																																																				
目的	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して経済的援助を行うことにより、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その世帯の自立を支援する。																																																																																																																																																																							
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。また、経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行った。 平成27年度は平成26年度と比較すると、受給世帯は3世帯・25人の減となり、生活扶助費・医療扶助費等の減により、支給額は43,289千円の減少となった。</p> <p>【生活保護世帯の状況】 (各年度とも3月末日の数値) (単位:世帯、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">峰山町</th> <th colspan="2">大宮町</th> <th colspan="2">網野町</th> <th colspan="2">丹後町</th> <th colspan="2">弥栄町</th> <th colspan="2">久美浜町</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>世帯数</th> <th>人数</th> <th>世帯数</th> <th>人数</th> <th>世帯数</th> <th>人数</th> <th>世帯数</th> <th>人数</th> <th>世帯数</th> <th>人数</th> <th>世帯数</th> <th>人数</th> <th>世帯数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>97</td> <td>138</td> <td>57</td> <td>84</td> <td>107</td> <td>167</td> <td>35</td> <td>46</td> <td>30</td> <td>48</td> <td>45</td> <td>78</td> <td>371</td> <td>561</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>104</td> <td>156</td> <td>61</td> <td>86</td> <td>113</td> <td>167</td> <td>36</td> <td>50</td> <td>32</td> <td>51</td> <td>48</td> <td>78</td> <td>394</td> <td>588</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>103</td> <td>152</td> <td>66</td> <td>98</td> <td>109</td> <td>167</td> <td>35</td> <td>48</td> <td>29</td> <td>44</td> <td>48</td> <td>70</td> <td>390</td> <td>579</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>106</td> <td>156</td> <td>65</td> <td>101</td> <td>116</td> <td>176</td> <td>37</td> <td>52</td> <td>32</td> <td>53</td> <td>42</td> <td>63</td> <td>398</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>110</td> <td>151</td> <td>67</td> <td>99</td> <td>118</td> <td>171</td> <td>35</td> <td>51</td> <td>28</td> <td>46</td> <td>37</td> <td>58</td> <td>395</td> <td>576</td> </tr> </tbody> </table> <p>【生活保護費の支給状況】 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活扶助費</th> <th>住宅扶助費</th> <th>教育扶助費</th> <th>介護扶助費</th> <th>医療扶助費</th> <th>生業扶助費</th> <th>施設事務費</th> <th>葬祭扶助費等</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H23</td> <td>204,754</td> <td>74,533</td> <td>5,622</td> <td>20,265</td> <td>399,370</td> <td>4,001</td> <td>3,884</td> <td>616</td> <td>713,045</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>210,914</td> <td>81,946</td> <td>4,633</td> <td>22,633</td> <td>385,415</td> <td>3,615</td> <td>3,621</td> <td>247</td> <td>713,024</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>210,540</td> <td>85,783</td> <td>6,185</td> <td>18,684</td> <td>429,369</td> <td>3,290</td> <td>3,292</td> <td>218</td> <td>757,361</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>217,596</td> <td>83,299</td> <td>6,906</td> <td>17,619</td> <td>456,516</td> <td>3,873</td> <td>3,009</td> <td>1,258</td> <td>790,076</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>211,411</td> <td>87,625</td> <td>7,920</td> <td>18,957</td> <td>413,144</td> <td>4,430</td> <td>1,894</td> <td>1,406</td> <td>746,787</td> </tr> </tbody> </table>					峰山町		大宮町		網野町		丹後町		弥栄町		久美浜町		合計		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	H23	97	138	57	84	107	167	35	46	30	48	45	78	371	561	H24	104	156	61	86	113	167	36	50	32	51	48	78	394	588	H25	103	152	66	98	109	167	35	48	29	44	48	70	390	579	H26	106	156	65	101	116	176	37	52	32	53	42	63	398	601	H27	110	151	67	99	118	171	35	51	28	46	37	58	395	576		生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	生業扶助費	施設事務費	葬祭扶助費等	合計	H23	204,754	74,533	5,622	20,265	399,370	4,001	3,884	616	713,045	H24	210,914	81,946	4,633	22,633	385,415	3,615	3,621	247	713,024	H25	210,540	85,783	6,185	18,684	429,369	3,290	3,292	218	757,361	H26	217,596	83,299	6,906	17,619	456,516	3,873	3,009	1,258	790,076	H27	211,411	87,625	7,920	18,957	413,144	4,430	1,894	1,406	746,787
	峰山町		大宮町			網野町		丹後町		弥栄町		久美浜町		合計																																																																																																																																																										
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数																																																																																																																																																										
H23	97	138	57	84	107	167	35	46	30	48	45	78	371	561																																																																																																																																																										
H24	104	156	61	86	113	167	36	50	32	51	48	78	394	588																																																																																																																																																										
H25	103	152	66	98	109	167	35	48	29	44	48	70	390	579																																																																																																																																																										
H26	106	156	65	101	116	176	37	52	32	53	42	63	398	601																																																																																																																																																										
H27	110	151	67	99	118	171	35	51	28	46	37	58	395	576																																																																																																																																																										
	生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	生業扶助費	施設事務費	葬祭扶助費等	合計																																																																																																																																																															
H23	204,754	74,533	5,622	20,265	399,370	4,001	3,884	616	713,045																																																																																																																																																															
H24	210,914	81,946	4,633	22,633	385,415	3,615	3,621	247	713,024																																																																																																																																																															
H25	210,540	85,783	6,185	18,684	429,369	3,290	3,292	218	757,361																																																																																																																																																															
H26	217,596	83,299	6,906	17,619	456,516	3,873	3,009	1,258	790,076																																																																																																																																																															
H27	211,411	87,625	7,920	18,957	413,144	4,430	1,894	1,406	746,787																																																																																																																																																															
主な財源	国負	生活保護費負担金(3/4)	566,638千円																																																																																																																																																																					
	府負	生活保護費負担金(府費負担となる扶助費支給額の1/4)	130千円																																																																																																																																																																					
	諸収入	生活保護費返還金	8,669千円																																																																																																																																																																					
	諸収入	生活保護費徴収金	1,659千円																																																																																																																																																																					
評価・課題等	<p>○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。 ○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。</p>																																																																																																																																																																							
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																																																																																																																																																																							